

平成26年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検・評価報告書

浅口市教育委員会

目 次

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について	1
1 経 緯	1
2 目 的	1
3 点検・評価の対象及び方法等	1
4 学識経験者による知見の活用	2
5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要	3
6 点検・評価シートの作成	4
7 事務局、教育機関の機構	5
教育委員会の活動状況	6
1 教育委員会議の開催状況	6
2 教育委員名簿	6
3 平成26年度教育委員会議の開催状況	6
4 教育委員会の学校訪問	8
5 教育委員会議以外の活動状況	8
点検・評価の結果	11
重点目標1「健やかな心を育む学校教育の充実」	11
点検・評価項目【 学校教育の充実 】	11
1 確かな学力向上の推進	11
2 心の教育の推進	13
3 体育・健康教育の充実	15
4 人権教育の推進	17
5 特別支援教育の充実	17
6 教職員の適正な配置と人事管理	19
点検・評価項目【 学校施設の整備充実 】	21
1 学習環境の整備・充実	21
重点目標2「豊かな人生を育む生涯学習の充実」	23
点検・評価項目【 生涯学習の充実 】	23
1 生涯学習のまちづくり事業の推進	23
2 公民館活動の推進	23
3 図書館活動の推進	23
4 広報・啓発活動	24
点検・評価項目【 生涯学習施設の整備 】	25
1 社会教育施設の整備・充実	25

点検・評価項目【 青少年健全育成の活動支援 】	2 6
1 青少年健全育成の推進	2 6
2 家庭教育の推進	2 6
3 学校、家庭、地域との連携による教育力の充実	2 7
4 子ども読書活動の推進	2 7
重点目標 3 「スポーツ活動の振興」	2 9
点検・評価項目【 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実 】	2 9
1 社会体育施設の整備・充実	2 9
点検・評価項目【 スポーツ活動の振興 】	3 1
1 社会体育の振興	3 1
重点目標 4 「文化の薫る地域の振興」	3 3
点検・評価項目【 文化・芸術活動の振興 】	3 3
1 芸術文化活動の普及と振興	3 3
点検・評価項目【 歴史・文化的資源の保全・活用 】	3 5
1 文化財の保護・保存・公開・普及活動	3 5
点検・評価項目【 文化施設の整備・充実 】	3 7
1 かもがた町家公園の円滑な管理・運営	3 7
2 岡山天文博物館の円滑な管理・運営	3 8
重点目標 5 「グローバルな感性を育む国際交流・理解」	4 0
点検・評価項目【 国際交流の推進 】	4 0
1 姉妹都市（豪州・ティツリガリ市）友好提携都市（中国・高安市）との交流	4 0
2 コミュニケーション能力の向上	4 0
重点目標 6 「人権の尊重・男女共同参画社会の確立」	4 2
点検・評価項目【 人権啓発、人権教育の推進 】	4 2
1 人権教育の推進	4 2
2 人権啓発・教育の指導者・リーダーの養成	4 2
3 男女共同参画促進のための事業推進	4 2
浅口市教育委員会評価委員の総合評価(平成26年度事業分)	4 4
資料	
【資料1】平成26年度 園児・児童・生徒数(5月1日現在)	5 0
【資料2】平成26年度 学校・園及び教職員の研修一覧	5 1
【資料3】平成26年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧	5 2
【資料4】平成26年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績	5 3

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について

1 経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この改正法の規定に基づき、浅口市教育委員会が行った諸事業について、点検及び評価の結果について報告書にまとめるものです。

2 目的

地教行法の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、教育委員会が点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに市民に公表することとしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 点検・評価の対象及び方法等

(1) 対象

- ア 浅口市教育委員会の運営状況
- イ 浅口市教育委員会が管理・執行する事務
- ウ 「浅口市教育行政の基本方針」に掲げている主要施策の取組状況

(2) 方法

平成26年度における各事業の達成状況の把握を参考として、その取組状況について点検・評価を実施します。

(3) 報告

- ・時期 浅口市議会9月定例会
- ・報告の場 総務文教常任委員会

(4) 公表

- ・浅口市ホームページ及び教育委員会事務局等での閲覧

4 学識経験者による知見の活用

点検・評価にあたっては、地教行法第27条第2項の規定により教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされたため、浅口市教育委員会評価委員から意見を聴取いたしました。

浅口市教育委員会評価委員（平成27年度）

番号	氏名	所属	備考
1	金光英子	金光図書館長	
2	貝畑正己	元中学校長	
3	作田雅利	前浅口市文化連盟会長	

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

5 浅口市教育行政における事務の管理及び執行状況の点検・評価の概要

(1) 教育委員会の運営状況

評価項目	評価内容
ア 教育委員会の会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会の開催回数 ・教育委員会臨時会の開催回数
イ 教育委員の研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の参加状況

(2) 教育委員会が管理及び執行する事務

評価項目	評価内容
ア 教育行政の運営に関する基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針の策定
イ 規則等の改廃	<ul style="list-style-type: none"> ・条例、規則等の制定・改正等
ウ 議会の議決を経るべき議案	<ul style="list-style-type: none"> ・条例、予算等の議案
エ 教育関係予算	<ul style="list-style-type: none"> ・教育行政に関する当初及び補正予算
オ 教育委員会の所管に属する学校 その他の教育機関の設置又は廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・設置又は廃止の状況
カ 職員の任命に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動等の状況
キ 教科用図書の採択の決定に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択状況
ク その他	

6 点検・評価シートの作成

(1) 点検・評価項目

教育行政における教育委員会の活動状況、管理・執行する事務及び重点目標に掲げた施策について記載し、点検・評価します。

(2) 目標

点検・評価項目が目指す目標を記載します。

(3) 事業概要

点検・評価項目の事務事業及び施策について、その概要を記載します。

(4) 取組状況

点検・評価項目の事務事業及び施策について、目的を達成するための具体的な取り組み状況を記載します。

(5) 成果

実施した結果による成果について、具体的に記載します。

(6) 課題・方向性

今後の課題、改善点及び方向性について記載します。

(7) 自己評価

達成度や効果等について、評価を記載します。

(8) 評価委員の総合評価

外部委員の意見・評価を記載します。

(9) 評価指標

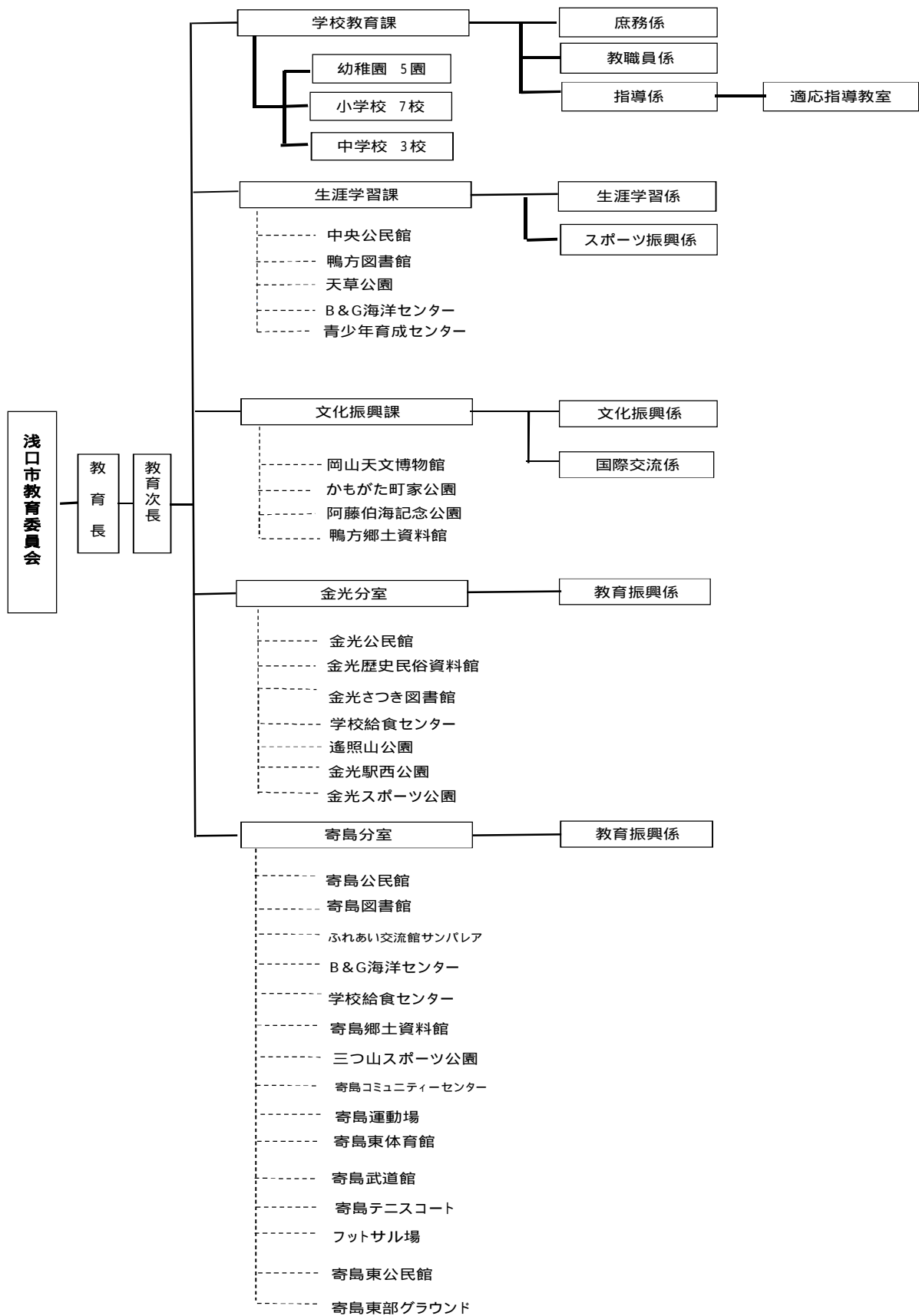
A：予定通り達成された。

B：概ね達成された。

C：やや達成できなかった。

D：達成できなかった。

7 事務局、教育機構の機構



教育委員会の活動状況

1 教育委員会議の開催状況

浅口市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催している。この会議では、5名の教育委員（教育長1名を含む）が、教育行政の運営の基本方針や教育委員会の規則の制定・改廃、教科用図書の採択、文化財の指定など、会議において議決を要する事項について審議・決定を行うとともに、教育に関する重要事項について事務局から報告等を受けている。

2 教育委員名簿（平成26年5月12日現在）

職名	氏名	委員就任年月日	任期満了年月日
委員長	山田 篤	平成25年5月12日	平成29年5月11日
職務代理者	藤井 徹	平成23年5月12日	平成27年5月11日
委員	原田 玲子	平成26年5月12日	平成30年5月11日
委員	中務 美保子	平成26年5月12日	平成30年5月11日
委員（教育長）	中野 留美	平成26年5月12日	平成28年5月11日

3 平成26年度教育委員会議の開催状況

	期日	場所	附議案件等
4月定例会	H26.4.17	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護の認定について ・浅口市いじめ問題対策基本方針について ・平成26年度教育行政の基本方針について
5月定例会	H26.5.10	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護の認定について ・浅口市いじめ問題対策基本方針について
5月臨時会	H26.5.12	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員長の選挙について ・教育委員会委員長職務代理者の指定について ・教育委員会教育長の任命について
6月定例会	H26.6.20	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市子ども・子育て会議の公開に関する要綱の制定について ・浅口市私立保育所整備事業費補助金交付要綱の制定について ・浅口市立保育所条例施行規則の制定について ・浅口市保育所保育料徴収規則の制定について ・浅口市保育の実施に関する条例施行規則の制定について ・浅口市保育所入所選考基準要綱の制定について ・浅口市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱の制定について ・浅口市私立認可保育所運営費補助金交付要綱の制定について ・浅口市障害児保育事業補助金交付要綱の制定について ・浅口市教育委員会の権限に関する事務の補助執行に関する規程の制定について

			<ul style="list-style-type: none"> ・機構改革に伴う関係規則の整備に関する規則について ・浅口市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について ・浅口市立幼稚園保育料減免に関する規則の一部を改正する規則について ・浅口市私立幼稚園就学奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・教育委員会事務局職員の人事について
7月定例会	H26.7.25	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校教科用図書の採択について ・教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について ・浅口市指定文化財の指定基準の制定について ・子ども・子育て会議委員の委嘱について
8月定例会	H26.8.26	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市立小・中学校、幼稚園の学校給食における食物アレルギー対策委員会設置要綱の制定について ・浅口市心身障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則について ・浅口市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について
9月定例会	H26.9.30	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市子ども・子育て支援法施行細則の制定について ・浅口市保育所・認定こども園及び家庭的保育事業等の利用調整に関する基準要綱の制定について ・浅口市保育所保育料徴収規則の一部を改正する規則について
10月定例会	H26.10.17	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護・準要保護の認定について
11月定例会	H26.11.21	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
12月定例会	H26.12.19	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市保育所・認定こども園整備事業費補助金交付要綱の制定について
1月定例会	H27.1.30	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市全国大会等出場激励金交付要綱の一部を改正する告示について ・浅口市指定文化財の諮問について
2月定例会	H27.2.20	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について
3月定例会	H27.3.12	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教職員人事異動の内申について
3月臨時会	H26.3.20	中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・準要保護の認定について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・浅口市教育長の営利企業等の従事制限に関する規則の制定について ・浅口市保育所における保育の利用に関する規則の制定について ・児童福祉法第56条の規定に基づく保育の利用に伴う費用の徴収等に関する規則の制定について ・浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する規則の制定について ・浅口市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料減免取扱要綱の制定について ・浅口市放課後児童健全育成事業の届出等に関する要綱の制定について ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について ・浅口市教育委員会職員職名規則の一部を改正する規則について ・岡山天文博物館条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市阿藤伯海記念公園条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市私立保育所整備事業費補助金交付要綱を廃止する告示について

			<ul style="list-style-type: none"> ・浅口市子ども・子育て支援法施行細則の全部を改正する規則について ・浅口市立保育所条例施行規則の一部を改正する規則について ・浅口市立保育所延長保育事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市立保育所一時預かり事業実施要綱の一部を改正する告示について ・浅口市私立認可保育所運営費補助金交付要綱の一部を改正する告示について ・平成 27 年度教育行政の基本方針について
--	--	--	--

4 教育委員会の学校訪問

時期	訪問先	概要
H26.6.20	鴨方西幼稚園・小学校、六条院幼稚園・小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、校長との懇談 ・学校給食の試食
H26.11.21	竜南保育園、寄島西保育園、寄島幼稚園・小学校・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・保育及び授業参観、校・園長との懇談 ・学校給食の試食

5 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議に出席するほか、適宜、各種会議や行事に出席している。
平成 26 年度の、主な活動は次のとおりである。

時期	各種会議・関係行事	概要
H26.4	市立学校・園入学式	・市立幼稚園 5 園、小学校 7 校、中学校 3 校
H26.4.21	教育問題懇談会	・岡山県総合教育センター
H26.4.25	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	・第 1 回定例会 あしもり学園
H26.7.3	岡山県市町村教育委員会 連絡協議会総会	・役員会、総会 ライフパーク倉敷
H26.7.17	岡山教育事務所管内 教育長連絡会議	・ピュアリティまきび
H26.7.18	青少年海外派遣事業壮行式	・健康福祉センター
H26.9.7	青少年海外派遣事業報告会	・中央公民館
H26.10.2	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	・第 2 回定例会 玉野市
H26.10.6	岡山県教育長と市町村教育長 との意見交換会	・岡山県庁

H26.10.9	鴨方西幼稚園研究発表会	・市指定
H26.10.24	岡山教育事務所管内 教育長連絡会議	・ピュアリティまきび
H26.11.19	鴨方中学校研究発表会	・市指定
H26.11.11	浅口市中学生英語 スピーチコンテスト	・寄島公民館
H26.11.12	岡山県市町村教育委員会 連絡協議会研修会	・くらしき健康福祉プラザ
H27.1.8	学力向上フォーラム	・健康福祉センター
H27.1.11	浅口市成人式	・ふれあい交流館「サンパレア」
H27.1.15 ～16	岡山県都市教育長協議会 教育行政視察	・福岡県春日市
H27.1.22	岡山県都市教育委員会 教育長協議会	・第3回定例会 倉敷市民会館
H27.1.30	市教育委員会先進地視察	・真庭市美川こども園 真庭市落合こども園
H27.1.31	浅口市きらきら賞表彰式	・中央公民館
H27.2.6	教育問題懇談会	・岡山県庁
H27.3	市立学校・園卒業式	・市立保育園2園、幼稚園5園、 小学校7校、中学校3校

成果

- ・ 定例や臨時の教育委員会議において、質疑応答や協議の時間を十分確保することで、教育委員会事務局における課題や取組等についても理解を深めることができた。また、会議後に自主研修の時間を設定するなどして、学校や地域、近隣市町村の動向等についても見識を深めることができた。
- ・ 認定こども園の先進地である真庭市へ視察に行き、実施例と課題などを学ぶことができた。
- ・ 学力向上No.1プロジェクト事業について、定期的に進捗状況の報告を求め、必要な助言を行った。また、学力向上フォーラムなどプロジェクト事業の一環として行われている行事にも参加し、職務遂行に必要な知識の習得に努めた。
- ・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に関して、総合教育会議や教育委員制度改正の研修を受け、また教育委員会議の中でも制度改正に関しての報告を求め、知識の習得に努めた。
- ・ 青少年海外派遣事業に参加する中で、異文化交流を通して国際的視野を持つことの重要性を再確認した。
- ・ 厳粛な雰囲気の中で成人式典を執り行うことができ、青少年健全育成のための活動が継続的に行われている成果を実感することができた。

課題・方向性

- ・ 教育委員相互の意見交換や教育委員会事務局からの説明聴取を積極的に行い、様々な教育課題について議論し、市としての方向性を定めていけるよう工夫したい。
- ・ 調和の取れた教育行政を推進するために、教育委員の研修や教育関係行事への参加は重要である。年間を通して研修や行事へ参加し、教育行政に対する知識を深め、課題の把握や教育行政に対する意見・要望等の把握に努めていきたい。
- ・ 次年度も他市町村又は他県への視察を計画し、先進的な取組を参考として、本市の長期的な方向性についても検討していきたい。
- ・ 研究発表会や学校行事はもちろん、計画的な学校・園訪問を継続して、授業を参観したり、学校・園長と懇談したりして、教育現場の実態把握に努め、市内の学校・園の実情を理解するとともに、具体的な指導・支援を講じていきたい。

自己評価 B

- ・ 学校訪問や学校行事、研究指定校の研究発表会をはじめ、生涯学習事業、文化振興事業、その他教育関係の行事にも積極的に参加して、市内教育関係事業の推進状況の実情把握に努めた。
特に、学力向上やいじめ・問題行動等、学校の取り組みについては、多角的な視点で分析し、的確な指導・支援を継続していきたい。
- ・ 教育委員会事務局からの報告や連絡を受けるだけでなく、事務局へ報告を求めるなど、積極的な姿勢で諸課題に対応することができた。まだまだ本市の課題は山積みであり、スムーズな対応ができたとは言い切れないが、引き続き現体制で事務局や教育現場に近い距離で、指導・支援を継続していきたい。

点検・評価の結果

重点目標 1 「健やかな心を育む学校教育の充実」

点検・評価項目

【 学校教育の充実 】 ……担当課 学校教育課

1 確かな学力向上の推進

(1) 学習指導方法の工夫・改善

ア 事業概要

- ・浅口市学力向上No.1プロジェクト研究推進委員会
- ・魅力ある授業づくり徹底事業
- ・市内幼稚園・小学校・中学校への要請訪問の充実
- ・教育委員会研究指定校・園への指導・支援
- ・授業公開や研修講座の充実
- ・全国学力・学習状況調査を活用した授業改善

イ 取組状況

- ・市内小学校・中学校の代表の教員で浅口市学力向上No.1プロジェクト研究推進委員会を組織し、「自ら学ぶ」「ともに学ぶ」「人に学ぶ」の3つの視点をもって各校・園の研究を進めた。成果を発表する場として、「学力向上フォーラム」を1月に実施し、他校の教員だけでなく、学校評議員や地域の方々にも発表を聞いてもらうことができた。
- ・寄島小学校・中学校が魅力ある授業づくり徹底事業の対象校2年目となり、確かな学力を育成する授業の実現に向け、岡山県総合教育センターの指導主事の指導を受け、学校をあげて取り組んだ。
- ・市内幼稚園5園、小学校・中学校10校への要請訪問(6月～11月)を実施した。
- ・校内研修等へ指導主事を積極的に派遣して、学力向上への指導・支援を行った。
- ・研究指定校(鴨方西小学校)及び研究指定校区(鴨方中学校区)の研究授業や校内研修には、複数回指導主事を派遣して、研究推進の支援にあたった。
- ・初任者研修講座(金光小学校)で授業を公開し、岡山県総合教育センターと連携して、初任者の研修の場を提供した。
- ・鴨方西幼稚園の研究授業や校内研修会に対して指導主事を派遣し、計画的に指導・支援にあたり、平成26年10月9日(木)に発表会を開催した。
- ・市内4小学校と3中学校から計7名の授業改革協力員を指名し、公開授業研究に取り組んだ。
- ・合同若手教員研修講座を岡山教育事務所と連携しながら、近隣3町(早島・矢掛・里庄)と合同で実施した。また、中堅教員研修(プレステージ研修)を井原市と合同で開催した。
- ・若手教員の指導力向上を目指したパワーアップ研修会を実施した。浅口市内在勤の中堅教員の協力を得ながら、学級経営のポイントや学校・園の授業実践等の情報交換な

どを行い、学級経営や学習指導のヒントを得ることができた。

- ・市内の全小学校・中学校で全国学力・学習状況調査に取り組んだ。調査の結果を各学校で分析して学力向上改善プランを作成し、各校の指導改善に生かしている。

(2) 家庭・地域との連携

ア 事業概要

- ・基本的な生活習慣の育成に向けた研究の充実
- ・幼稚園・小学校・中学校の連携を図った取組

イ 取組状況

- ・幼稚園・小学校・中学校の教職員がお互いの学習や保育の様子を参観し、学校・園で大切にしている取組を共有した。
- ・継続的に学年の実態に応じたカードを活用し、基本的な生活習慣の定着を図った。

(3) 小・中学校の連携

ア 事業概要

- ・小学校・中学校長会、教頭会との連携
- ・担当者別研修会の開催
- ・小学校・中学校相互の授業参観
- ・教職員夏季研修会の充実

イ 取組状況

- ・校園長会、教頭会研修会等管理職の研修や、教務主任者会等で小学校・中学校の教職員の合同研修に取り組んだ。
- ・それぞれの校内研修について連絡を取り合い、校種を超えて、積極的に授業を参観したり、検討・反省会へ出席したりした。
- ・教職員夏季研修会は、1日研修を計画し、奈良教育大学大学院 教育学研究科 教職大学院 池島徳大教授による講演会を行った。

(4) 学習時間の確保

ア 事業概要

- ・放課後学習サポート事業の実施
- ・夏季休業中における補充学習

イ 取組状況

- ・全小学校・中学校に2名ずつ学習支援員を配置し、国語科・算数科・数学科を中心に基礎学力の定着を図った。
- ・生涯学習課と連携し、地域の方々や公民館講座を受講されている方や中高校生が講師となり、「夏GAKUサブリ」を展開した。金光・鴨方・寄島それぞれの会場で多様な学習の場を構成し、参加児童は生き生きと学ぶことができた。また、学校で実施した補充学習においては、大学生や高校生の協力も得ながら実施した。学習に適した環境を整えるため、市内の学校へエアコン(市内計159台)を設置した。

(5) 時代の進展に対応した教育(国際理解教育・ICT教育・環境教育等)の推進

ア 事業概要

- ・全小学校・中学校への外国人英語教師(ALT)の配置とその活用

- ・浅口市英語活動全体計画2014の整備と充実
- ・学校教育課に英語教育指導員を配置
- ・ICT機器の効果的な活用の促進（児童・生徒用のタブレットPCの整備）
- ・各学校における環境教育の推進への支援

イ 取組状況

- ・小学校・中学校へALT（外国人英語教師）を5名配置し、外国語活動・英語指導の充実を図るとともに、国際理解教育も推進した。
- ・小学校4～6年生の指導へ向けて浅口市英語活動全体計画2014の充実を図った。また、小学校1～3年生までの外国語活動指導のために、指導資料を作成し、活用した。
- ・小学校の外国語活動の研究授業を全ての学校で公開した。英語教育指導員の指導のもと、ALTの合同研修を定例化させ、相互の指導力向上に取り組んだ。
- ・9月に鴨方西小学校においてタブレットPCを活用した授業を公開し、ICT機器の効果的な活用について研究を深めた。
- ・浅口市教職員夏季研修会において、ICT研修会を市内の小学校で実施し、タブレットPCの基本的な操作や、授業での効果的な活用法について考えることができた。担当が各校に持ち帰り、どんな学習場面で活用ができるかを検証しながら、伝達の校内研修を行った。
- ・環境教育については、ごみの処理や、リサイクルを中心に、各校が施設見学を行った上で学習を深めている。また、生徒会も活動の中心になって活動している。

2 心の教育の推進

（1）道徳教育の充実

ア 事業概要

- ・各学校における道徳教育の推進
- ・校内授業研究への支援
- ・外部講師やボランティア等地域人材の活用

イ 取組状況

- ・要請訪問や初任者研修の授業研究を活用して、道徳教育推進のための支援をした。
- ・「心の教育」のつながりについて、異校種間の連携をいかに進めていくか研究を深めた。
- ・学校の教員だけでは十分に学習効果が得られにくい学習や行事の際には、地域の方々に協力していただき、児童・生徒の支援をお願いした。学校によっては、人材バンクを組織し、必要に応じて依頼することも進めている。

（2）学社連携による体験教育の充実

ア 事業概要

- ・キャリア教育実践モデル開発事業（鴨方中学校区）
- ・夏のボランティア活動への中学生参加推進
- ・中学校2年生職場体験活動の推進
- ・学校支援ボランティアの活用

- ・学校支援地域本部事業との連携

イ 取組状況

- ・3中学校の2年生300名の職場体験学習(3日間 寄島中学校6月、鴨方中学校9月、4日間 金光中学校11月)の実施に関して、支援を行った。
- ・地域の人材を外部講師やボランティアとして招聘し、諸活動を支援してもらった。特に学校だよりで具体的な内容等を積極的に広報し、多くの支援をいただいた学校もあった。
- ・鴨方中学校区でキャリア教育推進委員会を組織した。推進委員会では、アンケートにより実態を把握し、それをもとにキャリア教育の目標や全体構想について検討した。また、幼稚園・小学校・中学校の教育活動を見直し、それぞれの学校・園で発達段階に応じた目標を設定した。キャリア教育の観点に関連づけた教育課程を実施することにより、連携のための相互理解が深まった。
- ・中学生の夏のボランティア活動には市内の多くの中学生が参加し、貴重な体験の場となっている。

(3) 教育相談の充実

ア 事業概要

- ・各中学校へスクールカウンセラーを派遣
- ・関係機関との連携による対象児童・生徒への支援
- ・専門家を活用して、休日の定期教育相談の実施
- ・SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置・派遣

イ 取組状況

- ・各中学校へスクールカウンセラー(4名)とスクールサポーター(3名)を派遣。小学校へも1名のスクールカウンセラーを新規に派遣(計2名)。
- ・園児・児童の就学指導に関する情報の共有のため、市の健康福祉部局(子育て支援課、健康推進課)と連携して定期的に「すこやか会議」を開催している。また、社会福祉課の発達支援コーディネーターと連携し、家庭からの情報を共有しながら、該当児童・生徒の指導・支援に生かしている。
- ・倉敷児童相談所及び市健康福祉部局(子育て支援課、健康推進課)との連携により、発達障害のある児童・生徒への支援を推進した。不登校児童・生徒の対応や家庭教育への支援を図る「要保護児童生徒対策協議会」へ参加し、情報を共有し対応策に取り組んでいる。
- ・臨床心理士の資格を有する教育相談専門員(2名)を旧3町単位で配置し、中央公民館では月2回、金光公民館と寄島公民館では月1回、土曜日に教育相談を継続して実施している。
- ・SSWの活用については、関係機関や市関係課と連携しながら協議会やケース会議を開催し、個々の事案に応じた対応を行うことができた。

(4) 適応指導教室事業の推進

ア 事業概要

- ・適応指導教室の充実
- ・適応指導教室と学校との情報共有・連携の促進
- ・生徒指導総合実践事業

イ 取組状況

- ・適応指導教室（大簡塾）では、3名の指導員を中心に、複数名で個々の児童・生徒を見守ることができた。教室環境も個々のニーズに対応し、児童・生徒の生活意欲を充実させることもできた。保護者との教育相談を定期的実施したり、学校への報告も定期的に行ったりしながら、情報の共有を図り、常に寄り添う姿勢で支援を継続することができた。長期休業中も計6回教室を開放し、継続的な生活のリズムづくりを心がけた。学校への復帰に際しては、一層慎重な姿勢で適切なタイミングを押し量るよう努力した。
- ・連絡協議会を年3回実施し、児童・生徒へのよりよい支援の在り方や運営について、適応指導教室指導員、訪問カウンセラー、利用している児童・生徒の学校関係者、学校教育課担当で協議を行った。
- ・訪問カウンセラーは、適応指導教室での指導・支援だけでなく、市内の学校へも出向き、気になる児童・生徒や保護者への適切な支援を行うことができた。

(5) 不登校対策実践研究事業

ア 事業概要

- ・鴨方東小学校・鴨方西小学校・六条院小学校の3校に、「登校支援員」を各1名配置し、学校に登校しづらい状況の解消に努めた。
- ・登校支援員の研修を行い、子どもへの関わり方を身につけさせ、学校に登校してからの支援も手厚く行った。

イ 取組状況

- ・登校支援員の関わりにより、登校をしづんでいた子が登校するようになり、小学校での不登校傾向の児童の出現率は低下したが、依然として、中学校に入って不登校が増える傾向がある。
- ・本事業により、学校の教職員と登校支援員が連携を図りつつ、学校への適応に向けて支援が必要な児童への登校支援や学習支援及び保護者への相談支援等の3つの支援ができてきた。

(6) 就学前の教育支援

ア 事業概要

- ・幼稚園への指導・支援の充実
- ・預かり保育の充実

イ 取組状況

- ・要請訪問や園内研修の保育実践研修を通して、指導力向上に向けての支援を行った。
- ・幼教研研究指定である鴨方西幼稚園の研修には、浅口市内の幼稚園の教諭も研究部員として参加し、豊かなかわり合いを通して、たくましい幼児を育成するための協議を行った。研究会当日には、浅口市内外より多数の参観者があり、研修を深めた。
- ・市内5幼稚園において、預かり保育を継続実施した。寄島幼稚園・寄島西保育園の子ども園への動きが進むよう、支援した。

3 体育・健康教育の充実

(1) 体育づくり・スポーツ活動の推進

ア 事業概要

- ・体育的行事の充実
- ・地域スポーツ人材の活用実践支援事業

イ 取組状況

- ・浅口市学童水泳記録会(7月24日)
- ・浅口市学童陸上記録会(10月8日)
- ・浅口市中学校体育連盟の総合体育大会参加者へ、生徒派遣費等の補助(7・10月)
- ・部活動の指導・支援に地域の専門家に協力を要請(鴨方中学校・寄島中学校)

(2) 心身の健康の保持増進

ア 事業概要

- ・教職員及び児童・生徒の健康診断の実施
- ・警察や関係機関と連携した酒・たばこ・薬物等の心身の健康に関する教室の実施
- ・市内小学校・中学校における「あいさつ運動」の推進

イ 取組状況

- ・各学校・園で、「学校だより」や「保健だより」を活用し、啓発に努めた。
- ・小学校・中学校において薬物乱用防止教室を実施した。
- ・県から「めざせ、あいさつ日本一！」ののぼりが配布され、児童会・生徒会活動を中心にあいさつ運動を推進した。また、地域の方々にも協力を呼びかけ、啓発活動を行っている。

(3) 望ましい食生活習慣の育成

ア 事業概要

- ・栄養教諭による食育指導の充実
- ・学校給食基本献立の活用
- ・食育全体計画の作成と実践

イ 取組状況

- ・各学校において給食試食会や学校給食週間の取組を実施した。
- ・栄養教諭や栄養職員との連携により、各学校・園において、給食指導や栄養に関する授業等を実施し、食育を推進した。
- ・市内の給食基本献立をもとに、各学校・園で行事等に合わせて柔軟に献立を立てるとともに、地産地消にも継続的、計画的に取り組んだ。
- ・養護教諭と連携しながら、アレルギー対応にかかるマニュアルについて検討を重ね、児童・生徒の安全安心のための徹底を図った。

(4) 子どもたちの安全・安心な生活の推進

ア 事業概要

- ・各学校における安全点検の実施
- ・通学路の安全点検の実施
- ・登下校の児童の安全指導と地域の見守り活動との連携
- ・校内の消防・防災計画の整備とその推進
- ・交通安全プログラムの策定

イ 取組状況

- ・各学校で、毎月校内の施設・設備の安全点検を実施し、必要に応じて修理・改善の徹底を図った。
- ・保護者や地域の方々とも連携して通学路の安全点検を実施し、改善策を講じた。各校からの要望等を学校教育課でとりまとめ、市の総務課・建設業務課や警察との連携を図りながら、個々の相談にスピーディに対応するよう努めた。
- ・各学校・園において交通安全教室などを計画・実施し、園児・児童・生徒の交通安全の徹底を図った。また、各校区でPTAや地域の方々とも連携しながら、幼児・児童・生徒の見守り活動を展開している。
- ・各学校において、火災を想定したものだけでなく、地震や津波、不審者の侵入を想定した避難訓練を学期に1回程度実施した。寄島地区では中学校が中心となり、保育園・幼稚園・小学校と連携しながら、合同の避難訓練を実施することができた。
- ・学校・園の安全対策として、警察等関係機関と防犯教室を行いより一層連携を図るとともに、各学校・園に防犯カメラ及び防犯用具（さすまた）を設置している。
- ・生徒指導参与（スクールポリス）を配置し、小学校・中学校の校内での児童・生徒への対応や、環境面への助言などを学校に対して行っている。

4 人権教育の推進

(1) 学校における人権教育の充実

ア 事業概要

- ・管理職及び人権教育担当者研修会等への教職員の派遣
- ・各学校・園における児童・生徒、教職員の人権教育の推進
- ・児童・生徒の人権教育啓発ポスターの取組

イ 取組状況

- ・各学校の管理職や人権教育担当者を研修会に派遣した。
- ・各学校・園において、人権教育を教職員の研修に位置づけて実施している。

(2) 保護者・地域社会との連携

ア 事業概要

- ・各学校・園における児童・生徒、教職員の人権教育推進のための地域人材活用
- ・PTA人権教育の推進と指導主事の派遣

イ 取組状況

- ・各学校・園において人権教育推進計画を作成し、教育課程に位置づけて推進している。
- ・生涯学習課との連携により、各幼稚園・小学校・中学校PTA人権教育研修会を年1回開催。幼稚園PTA人権教育研修会には、指導主事を派遣して協議に参加した。

5 特別支援教育の充実

(1) 特別支援教育の推進と体制整備に関する研究

ア 事業概要

- ・特別支援教育体制の充実に向けての支援
- ・教職員研修を充実させるための指導・支援
- ・特別支援教育支援員による支援の充実

イ 取組状況

- ・専門指導員派遣事業を活用して、県立支援学校の先生を招き、授業参観や担任との懇談を通して、適切な支援の在り方について検討した（ケース会議等の実施）。
- ・学級において支援を要する児童・生徒に対して、支援員が担任の先生と協力し、適切な関わりをすることにより落ち着いた学びに結びつけた。
- ・社会福祉課の特別支援コーディネーターとの連携により、学校・園の気になる児童・生徒についての情報を共有することを心がけ、適切な対応ができるように心がけた。

(2) 学校における講演会・研修会の充実

ア 事業概要

- ・教職員を対象とした発達障害児理解と支援のための研修会開催
- ・幼稚園における発達障害児理解と支援のための実践的研修会開催

イ 取組状況

- ・市の相談支援ファイル作成へ向け、関係課と連携しながら、実現可能な形にしている。
- ・社会福祉課と連携し、幼稚園・小学校・中学校の教職員と生活支援員等を対象として、発達障害児理解と支援のための研修会を開催した。

(3) 就学指導の充実

ア 事業概要

- ・特別支援教育支援委員会の充実
- ・就学時健康診断の実施

イ 取組状況

- ・市内の保育園・幼稚園・小学校の担当者を集め、就学指導等連絡協議会を開催した。笠岡学園等の専門機関とも連携を図りながら、各校へ資料提供をするなど支援体制を充実させた。
- ・浅口地区特別支援教育支援委員会を11月20日に開催した。
- ・就学時の健康診断を市内の7小学校で開催した。

(4) 支援を要する児童生徒のケース会議の開催

ア 事業概要

- ・園児・児童・生徒のケース会議の開催
- ・就学援助費等の交付

イ 取組状況

- ・倉敷児童相談所、おかやま発達障害者支援センター、笠岡学園、西備支援学校等の支援を受けて、園児・児童・生徒のケース会議を開催し、協議した。
- ・要保護家庭・準要保護家庭等へ就学援助費を交付した。

(5) 生活支援員の配置と活用

ア 事業概要

- ・市内15校・園に33名の生活支援員を配置
- イ 取組状況
 - ・生活支援員は、各校・園の課題に応じ、貴重なスタッフの一人として活動している。

6 教職員の適正な配置と人事管理

(1) 県費負担教職員の適正な配置と加配教員等の活用

ア 事業概要

- ・各学校の実態をふまえた適切な教員配置
- ・加配教員を活用した学校運営・学校教育充実のための指導・支援

イ 取組状況

- ・少人数指導や特別支援教育等、学校の実状にあわせた教員の配置を行った。各学校において適切な活用をし、学校教育の充実に生かしている。

(2) 市費職員の任用と効果的な配置

ア 事業概要

- ・市費非常勤講師の配置

イ 取組状況

- ・県費教職員の配置が難しかった学校に教科指導（英語・家庭科・美術）を担える非常勤講師を配置することにより、教科指導の充実が図れた。

(3) 教職員のサービスの厳正

ア 事業概要

- ・校長会及び管理職研修によるサービスの厳正
- ・不祥事防止に向けての研修

イ 取組状況

- ・岡山県教育庁各課及び岡山教育事務所等からの通知を、校長会や管理職研修において周知するとともに、各学校の教職員への周知指導を徹底した。
- ・体罰に関する継続的な研修を行った。

(4) 人事評価システムの適正な運用と活用

ア 事業概要

- ・教職員の資質向上及び学校組織の活性化を図る。

イ 取組状況

- ・適正なシステムの運用ができるように指導・支援し、教職員一人一人の資質能力または勤務意欲の向上につながり、学校組織の活性化を図るように努めている。

(5) 教職員が子どもと向き合う時間を確保するための学校マネジメント支援

ア 事業概要

- ・教職員の勤務負担軽減に向けた取組

イ 取組状況

- ・市内7小学校へ校務支援システムを導入し、出席簿、通知票、指導要録等の管理をシ

システムで行うとともに、活字印刷により教職員の事務量の軽減を図っている。

成 果

- ・各学校・園においては、学校（園）長のリーダーシップのもと、教職員一人ひとりが自分の役割を自覚しながら、日々の指導に取り組んでいる。その結果、どの学校も落ち着いた状態である。「学力向上No.1プロジェクト事業」の2年次は、幼稚園も加わり「知・徳・体のバランスのとれた成長」を目指して、連携を図って取り組む機運が高まった。また、学力の向上には、学校・家庭・地域社会への働きかけも必要であるが、「学力向上フォーラム」を行ったことで、その輪が広がりはじめている。
- ・校内研修をはじめ、多くの機会をとらえては、学校（園）へ出向き、指導・支援を積み重ねながら、現場の様子を確かめるよう本年度も心がけた。施設整備や、人員配置に役立てることができたと感じている。学校に課題ができた場合には、教育委員会全体でバックアップすることはできた。

課題・方向性

- ・「学力向上No.1プロジェクト事業」の「放課後学習サポート事業」は、中学校でも実施するようになり、学習時間の確保に役だっている。やり方は固まってきたので、苦手な子への指導が行き届いているか確認しながら、中・長期的なビジョンをもって、常に具体的な取り組みを考えていく必要がある。
- ・児童・生徒の発達障害等に起因する問題は低年齢化し、就学前からしっかりした対応が求められている。他機関との連携を深め、引き続き、適切な指導・支援ができる環境を設定していく必要がある。
- ・不登校対策としての適応指導教室（大簡塾）は、個々の児童・生徒の様々な課題に対応し、成果をあげている。今後も、学校との連携をさらに深め、地道に取り組むことが必要である。
- ・教員には慢性的な多忙感がある。子どもと向き合う時間を確保するために、人的配置の充実は何よりの対策であるが、ICTの活用等で、効率的に分担したりして、工夫していくことも必要である。

自己評価 B

- ・「学力向上No.1プロジェクト事業」の2年次にあたり、研究推進委員には、各校の実務を担当している「研究主任」または「教務主任」の出席を求めた。各学校・園がもともと研究しようとしていた方向性を尊重し、プロジェクトを進めてきたと考えている。その結果を「学力向上フォーラム」という形で、保護者や市民に対してアピールする場がもてたことは、成果である。また、各校の研究の内容も「授業改善」だけでなく、「基礎学力の定着」の二本柱を意識した取り組みが増えている。
- ・学校マネジメント支援の視点から諸事業を見直し、子どもと向かい合う時間の確保に向けて、充実とともに効率化を図る工夫への努力が必要である。
- ・様々な課題に対応し、教育の成果をあげるためには人的配置が重要である。県教育委員会や市長部局との連携を強化して、教職員配置を充実させるとともに教職員の資質向上のために計画的な訪問や研修による指導・支援など引き続き努力していきたい。

点検・評価項目

【 学校施設の整備・充実 】 ……担当課 学校教育課

1 学習環境の整備・充実

(1) 開かれた学校づくり

ア 事業概要

- ・学校公開日の推進（日程や内容の工夫）
- ・中学校のオープンスクールの実施
- ・各学校（園）における学校評議員会の開催と学校自己評価の活用

イ 取組状況

- ・各学校（園）で、学校評議員会を定期的（年間2～3回）に開催し、学校（園）の教育内容について幅広く意見を求め、各学校（園）経営に生かしている。
- ・各学校では、教職員の自己評価だけでなく、児童・生徒や保護者、学校評議員等を活用して、教育評価を実施し、その結果を公開している。次年度の教育計画に引き続き生かしていきたい。

(2) 施設・設備等の整備・充実

ア 事業概要

- ・校舎の耐震補強工事
- ・学校施設の改修
- ・各学校の学習環境の整備・充実
- ・浅口市学校給食センターの建設
- ・新1年生への学用品等補助

イ 取組状況

- ・鴨方西小学校北・南校舎耐震改修等工事
- ・金光中学校校舎耐震改修等工事
- ・鴨方中学校テニスコート人工芝張替工事
- ・鴨方西小学校体育館屋上防水改修工事
- ・鴨方中学校14棟耐震改修等実施設計
- ・浅口市学校給食センター建設工事
- ・学校給食受入施設建築工事实施設計
- ・学校給食受入施設建築工事
- ・各小学校・中学校の普通教室及び特別教室へエアコンの設置
- ・各小学校・中学校へタブレットの整備
- ・金光学区の新1年生に専用ランドセルを配付
- ・鴨方・寄島学区の新1年生に入学記念品として、商品券（5,500円分）を配付
- ・新1年生に防犯ブザーを配付

成 果

- ・各学校・園は、学校だより・ホームページ等様々な形で、教育の成果を保護者や地域に発信している。保護者や地域住民、ボランティア等から支援を得る機会も多く、適切な評価をもらいながら、開かれた学校づくりが進められている。
- ・それぞれの学校が必要とする補修や改修について、計画的に取り組むことができた。何より子どもたちの安全を第一に考えながら、環境整備に努めた。
- ・各学校の普通教室及び特別教室にエアコンを設置したことに伴い、「空調設備運用マニュアル」を作成して各校に示した。
- ・厳しい予算の中ではあるが、子どもたちの安全・安心を最優先にとらえ、緊急性を要する懸案から施設・設備の改修を図ることができた。

課題・方向性

- ・今後も、学校・園の情報を保護者や地域へ積極的に発信して、開かれた学校づくりを継続していくことが重要である。
- ・学校の施設は、建設後かなりの年数が経過しており、老朽化が進んでいる。大規模な改修については、さまざまな視点から検討を重ね、現状や課題をふまえた上で方向性を見出す努力が必要である。また、常に安全面の管理を徹底し、未然に事故等を防ぐ努力を継続していくことも大切である。
- ・各小学校・中学校にエアコンを設置したことにより、室外機等の排熱によるヒートアイランド現象やエネルギー消費に伴う温室効果ガスの排出といった環境に負荷を与える問題が発生することから、環境への配慮のためにも省エネルギーに努めていく必要がある。
- ・建設中の新学校給食センターは、平成27年度2学期から供用開始の予定である。供用開始に向け、運用面の整備を図る必要がある。
- ・教育環境の整備には、予算の裏づけが必要である。各学校・園の状況を正確につかみ、優先度を付けて対応しなければならない。

自己評価 B

- ・学校・園は、保護者や地域の信頼を得ていくことで、教育効果もあがりやすくなる。多くの課題に対し閉塞的に対応していくのではなく、情報を積極的に発信し、相互の連携・信頼の中で、開かれた学校づくりを継続していきたい。
- ・教育には、環境の整備も重要である。限られた予算の中で、優先度の高い施設や設備の充実を図ることができたと考えている。しかし、年々施設の老朽化は進んでいる。中・長期的な大規模改修計画とともに、事故等の未然防止のために定期的な点検の徹底を図りながら、子どもたちの安全確保に一層の意識をもって取り組んでいくこと大切がある。
- ・次代を担う子どもたちの安全を保障するために、学校施設の安全対策は大変重要である。校舎等の耐震化工事を計画的に実施しており、平成27年度で完了する予定である。

重点目標 2 「豊かな人生を育む生涯学習の充実」

点検・評価項目

【生涯学習の充実】 …担当課 生涯学習課

1 生涯学習のまちづくり事業の推進

(1) あらゆる機会にあらゆる場所において学ぶことができる生涯学習推進体制の充実

ア 事業概要

- ・主体的自発的な学習の推進、学習機会の拡充、活動機会の充実

イ 取組状況

- ・社会教育関係団体の活動に対して支援や助言を行った。

(2) 幅広い市民のニーズに対応した学習機会の提供

ア 事業概要

- ・主体的自発的な学習の推進、学習機会の拡充、活動機会の充実

イ 取組状況

- ・市民学級（年7回開催、54名参加）、老人大学（年7回程度×3公民館）等を実施した。

2 公民館活動の推進

(1) 各団体、ボランティア等と連携を図り、公民館活動の活性化を目指す

ア 事業概要

- ・生涯学習の拠点施設として、市民のニーズに応じた学習によるまちづくり、人づくりの実施

イ 取組状況

- ・市内旧町毎に、年間を通しての公民館講座23講座や短期講座を開催した。

(2) 多様な催しを開催し、幅広い層へ学習機会を提供する

ア 事業概要

- ・各種講座の実施
- ・自主グループの育成

イ 取組状況

- ・公民館講座を修了した方の継続的かつ自主的な学習を行う機会の提供として、自主グループの育成に努めている。
- ・公民館短期講座の一部を岡山県生涯学習大学との連携講座として開催し、県内の幅広い層の方々が学習できる機会を提供した。

3 図書館活動の推進

- #### (1) 生涯学習の拠点施設のひとつとして役割を果たせるよう、資料や読書環境の整備に努めるとともに他施設、団体との連携を密にして、多様化するニーズに応えるよう努める。

ア 事業概要

- ・生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民が情報を得るための施設整備の実施
- ・高梁川流域連盟広域利用相互貸し出しの実施

イ 取組状況

- ・年間を通しての図書館講座や図書館行事を行った。

4 広報・啓発活動

(1) 様々な媒体を利用した情報発信、広報啓発

ア 事業概要

- ・教育委員会主催事業の紹介、参加者の募集、各種イベント情報などを市広報紙を通じて広く市民に周知する。

イ 取組状況

- ・市広報紙に行事・事業を紹介するとともに、大会・講座等の参加者を募集した。また、イベントに関してはホームページや子育て応援メールマガジンを活用して周知を行った。
- ・市広報紙・折込チラシ等に生涯学習推進月間、スポーツや文化活動の各種取り組み状況の紹介、公民館講座生の募集を行った。

成 果

- ・生涯学習の理念である、あらゆる機会・場所において学習することができ、その成果を生かす(発表・活動)ことのできる社会の実現に向けて、市民が生涯学習の楽しさを知り、興味や関心を持ち日頃の成果を発表する場について提供することができた。
- ・市民のニーズに応じた学習機会の提供の場として「市民学級」(年7回)を開講した。

課題・方向性

- ・各種講座、教室は必要に応じ事業内容の充実を図る必要がある。学んだ知識を生かせるような機会をつくることが求められる。また、各講座による学習の成果を今後も発表・循環(教わる側から教える側へ)できるように努めていきたい。参加者の拡大にも努めていきたい。
- ・放課後子ども教室、スポーツ少年団など、いずれの活動にも入っていない子どもたちへのPRが必要である。
- ・より一層の広報、成果発表の場の提供を実施していく。

自己評価 B

- ・各種講座において、たくさんの方々の協力を得て事業実施ができ、学習機会、活動機会を提供することができた。また、生涯学習について周知することができた。各種団体と協働し、より一層活発な活動を展開できるように努めることが必要である。

点検・評価項目

【生涯学習施設の整備】 …担当課 生涯学習課

1 社会教育施設の整備・充実

(1) 公民館、図書館など社会教育施設の整備・充実

ア 事業概要

- ・市民の方々が安心して気軽に利用できる社会教育施設の整備、充実
- ・施設間での情報を共有する等ネットワークの強化

イ 取組状況

- ・中央公民館大ホールの吊物修繕、アプローチのタイル改修など、利用者の安全性向上を図った。
- ・図書館でのインターネットによる予約の開始

(2) 金光さつき図書館、鴨方図書館、寄島図書館の貸出・蔵書管理システムを活用した相互ネットワークの充実

ア 事業概要

- ・利用者の利便性の確保及び蔵書管理システムを活用するための環境整備を実施

イ 取組状況

- ・多様化する市民からのニーズに適切な対応が出来るよう、定期的に図書館職員の打ち合わせ会を開催し、市民サービスの向上に努めた。

成果

- ・公民館において、修繕・改修により、快適さや安全性の向上を図った。また、設備の充実を図ることにより、市民の利便性は向上している。

課題・方向性

- ・公民館、図書館の連携をより深めながら、それぞれの地域の特性に根差したきめ細かいサービスを提供できるよう努力が必要である。

自己評価 B

- ・図書館機能は全体的に順調な成果を上げているが、利用者と未利用者が分化する傾向にあり、広報を工夫するなどして利用者の拡充を図り、市民全体を念頭に置いたサービスを実施することが重要である。

点検・評価項目

【 青少年健全育成の活動支援 】 …担当課 生涯学習課

1 青少年健全育成の推進

(1) 子ども育成条例に基づき、学校・家庭・地域・企業及び行政が連携した教育推進

ア 事業概要

- ・浅口市地域共同体を形成する学校・家庭・地域・企業及び行政等が連携し、すべての子どもの幸せと健やかな成長を図る取組の推進。

イ 取組状況

- ・各種団体等と連携し、地域を挙げて子どもを育てる取組を行った。

(2) 青少年団体活動の活性化

ア 事業概要

- ・子ども会、子ども会指導者クラブ、青年団協議会、ボーイスカウトの育成

イ 取組状況

- ・子ども会、子ども会指導者クラブ、ボーイスカウトが活動しやすいよう環境の整備を行うとともに、子ども会指導者クラブとともに子ども祭を実施した。
- ・青年団協議会によるクリスマスコンサート、スキー研修並びに清掃活動の支援を行った。

(3) 青少年育成センターを中心にした補導・相談・環境浄化・広報啓発活動の展開

ア 事業概要

- ・青少年非行防止のため、非行の社会的背景を探るとともに、広く関係諸団体とともに活動を推進

イ 取組状況

- ・青少年育成センターの専任指導員・指導員が中心となり、地域住民と学校、警察等関係機関と連携し、夜間補導、列車補導及び花火大会などでの補導活動を実施した。
- ・白ポストを活用して有害図書等の回収を行った。
- ・広報紙やホームページを活用して相談業務を広くPRし、21件の相談に応じた。
- ・年11回、「育成あさくち」を発行した。

2 家庭教育の推進

(1) 子どもたちの健やかな成長を促すため、子育てに関する学習機会の提供や相談・支援体制の整備に努め家庭教育の充実を図る。

ア 事業概要

- ・子どもたちの発達段階に応じた健やかな成長を促すため、子育てに関する学習機会の提供

イ 取組状況

- ・子育てやしつけなど家庭教育を「親力アップ！子育ていきいき塾」と題して、学童期子育て講座、就学時子育て講座を市内小学校で実施した。
- ・親子のふれあいを目的とした「ゆうき学級」を年2回開催した。

- ・就学児健康診断等の機会を活用して「親育ち応援学習プログラム」を小学校5校で実施した。

3 学校、家庭、地域との連携による教育力の充実

- (1) 学校教育を地域ぐるみで支援するための学校支援地域本部事業により、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアを学校の要請に基づいて派遣する。

ア 事業概要

- ・家庭、地域社会、学校が融合した教育体制の整備

イ 取組状況

- ・学校教育を地域ぐるみで支援するため学校支援地域本部を設置し、様々な経験や専門性を持つ地域ボランティアを学校の要請に基づいて派遣した。
- ・学校、地域と連携し、「夏GAKUサプリ」を各公民館で実施した。

- (2) 学校や地域ボランティアと連携し、土曜日や夏休み・冬休みに子どもたちを対象とした体験活動や学習講座を行う。

ア 事業概要

- ・土曜日を利用し、各公民館において週末体験活動「放課後子ども教室」を実施

イ 取組状況

- ・中央公民館7講座143人 金光公民館5講座108人 寄島公民館4講座37人

4 子ども読書活動の推進

- (1) 「子ども読書活動推進計画」に基づく取り組み

ア 事業概要

- ・ネットワークの構築のために、読書ボランティアの洗出しの実施

イ 取組状況

- ・学校支援事業におけるボランティアの洗出しを行うなかで、読書支援にかかるボランティアの掘り起こしを行い、ネットワークの足がかりをつくることができた。
- ・市内読書支援ボランティア団体の合同研修会及び交流会を実施した。

- (2) 発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

ア 事業概要

- ・子どもの読書離れが問題となっているが、発達段階に応じた読書、生活リズムの中で読書が位置づけられるような読書活動の推進

イ 取組状況

- ・健診時に保護者に対して、本を仲立ちにした子どもとのふれあいの重要性を伝え、ブックリストを渡したり、学校での読み聞かせを行ったりした。

成果

- ・子どもの日ごろの活動成果の発表の場として、「子ども祭り」を開催した。
- ・青少年の健全育成及び非行防止の啓発活動として、金光・鴨方駅前において街頭キャンペーンを、また寄島ではテント村を実施した。
- ・奉仕活動や親子講座に参加することで共に学び、ふれあうことができ、また、明るい家庭づくりという点でも意識の高揚が図られた。
- ・科学実験や町歩きなど普段学校では体験できない学習機会を提供し、学びへの興味喚起を図った。

課題・方向性

- ・子ども会、ボーイスカウト活動は、新たな指導者の発掘、多くの方の参加を促し更なる交流を図ることが求められる。読書活動のネットワークについては有効な方法を考えるとともに、各事業とも内外の研修に参加する機会を設けることが必要である。
- ・子どもの活動の推進については、読書活動推進計画を中心に、家庭、行政等が一体となって取り組んでいくことが必要である。
- ・夏GAKUサプリーについては、学校・地域との連携をさらに深め、学習プログラムの充実を図ることが望ましい。

自己評価 **B**

- ・青少年育成活動協議会、青少年育成センター業務は、それぞれの事業を通して、青少年の健全育成に寄与したが、より一層の理解協力を得ることが必要である。各事業における活動において順調に実施することができた。今後も地域の力を取り入れることが必要であり、社会教育諸団体を育成・支援していくことが望ましい。

重点目標3 「スポーツ活動の振興」

点検・評価項目

【 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実 】 …担当課 生涯学習課

1 社会体育施設の整備・充実

(1) 市民が生涯を通じて手軽にスポーツを楽しめるよう既存のスポーツ・レクリエーション施設の整備・充実を図る。

ア 事業概要

- ・天草公園の施設の整備・充実

イ 取組状況

- ・ふるさとかもがたプラザの屋根漏水修繕を行った。
- ・鴨方B & G海洋センタープールのろ過機修繕を行った。
- ・寄島B & G海洋センタープールのプール改修工事を行った。
- ・ふるさとかもがたプラザ南側トイレの一部洋式化を行った。

(2) 利用者間の連絡及び調整を行い、施設の有効な活用を促進する。

ア 事業概要

- ・利用者間の連絡及び調整

イ 取組状況

- ・体育協会等の年間の大会日程については、あらかじめ事務局が調整を行い、必要に応じて代替施設の利用について調整を行った。また、改修等により施設が利用できない場合は、定期使用団体に対し代替施設への変更等について調整を行った。

(3) 市民が気軽に予約、活用できるよう、予約システムの導入を検討し、施設の情報発信や啓発に努める。

ア 事業概要

- ・予約システムの導入の検討及び施設の情報発信

イ 取組状況

- ・予約システムの導入について協議・検討し、既導入自治体へ聞き込みをするなどの情報収集に努めた。

成果

- ・ふるさとかがたプラザの屋根漏水修繕を行い、利用者の利便性の向上につながった。
- ・プールろ過機修繕を行ったことにより、水質が向上した。
- ・ふるさとかがたプラザ南側トイレの一部洋式化を行い、利用者の利便性の向上につながった。

課題・方向性

- ・今後もより多くの市民が手軽にスポーツを楽しめるよう、引き続き生涯スポーツの普及・推進やスポーツ施設の整備・拡充を図り、体育施設の利便性の向上に努める。
- ・施設の予約システムの導入について問題点を見つけ、整備していく必要がある。

自己評価 **B**

- ・社会体育施設の整備・充実については、平成26年度も各種整備事業により一定の成果を得たが、今後、施設の老朽化への対策やバリアフリー化への対応により、一層誰もがスポーツに親しめる環境を整備する必要がある。また、それが施設利用者の拡大に繋がり、ひいては市民の健康増進に繋がるものとする。
- ・今後も平成21年度に策定したスポーツ振興基本計画をもとに、住民のニーズを的確に把握し、既存スポーツ施設の機能充実を継続していくことが必要である。

点検・評価項目

【 スポーツ活動の振興 】 ……担当課 生涯学習課

1 社会体育の振興

(1) スポーツ振興計画の推進

ア 事業概要

- ・浅口市スポーツ振興基本計画（H22～H31）の推進

イ 取組状況

- ・市内27単位スポーツ少年団の入団希望を年度末に各学校・園に募り、80名の新入団希望者があった。
- ・総合型地域スポーツクラブは独自にチラシを作成し、市内小学校・幼稚園・保育園に配布（定期教室）または市広報へ折り込み（不定期教室）により活動の周知・会員の募集を行った。定例会を開催しながら精力的に自主運営をしており、定期教室の数も発足時より増え、会員の確保に尽力している。
- ・スポーツ少年団指導者に対しては、岡山県体育協会が行っている「スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成岡山県講習会」を活用し、指導者の資質向上を目指し、各団代表者を通じて参加を促した。

(2) 体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなどの各種団体との連携、協力及びスポーツ・レクリエーションの普及に努める。

ア 事業概要

- ・市体育協会・スポーツ少年団などとの連携を図りながら各種大会の開催、全国大会に出場する選手への激励金を交付するなど競技スポーツを推進
- ・スポーツ推進委員活動の活発化

イ 取組状況

- ・市民体育祭、マラソン大会、硬式テニス教室及びスキー教室の開催、市体育協会による野球大会・テニス大会等の各種スポーツ大会を開催した。
- ・スポーツ推進委員の研修を行い、また活動を活発化させる狙いでスポーツ推進委員協議会旗とスローガンを作成した。

成果

- ・市民体育祭やマラソン大会などの社会体育事業を、体育協会等の各種団体との協働により開催し、多くの市民が参加した。
- ・スポーツ推進委員会を中心に、ラダーゲッターの普及に向け取り組んでいくこととした。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、さまざまな教室を開催し、特に年1回開催のあそびフェスタでは多種多様なブースを設け市内児童を中心に大勢が参加し、好評を博した。

課題・方向性

- ・今後のスポーツ振興策を展開する上での指標となるスポーツ振興計画をもとに、今後もより多くの市民が手軽にスポーツを楽しめるよう、引き続き生涯スポーツの普及・推進やスポーツ施設の整備、拡充を図っていく。

自己評価 B

- ・社会体育事業については、体育協会専門部、スポーツ少年団をはじめとする各種団体の協力を得て一定の成果を挙げつつあるが、少子高齢化の影響を受け、参加者数が減少するものもある。
- ・スポーツ少年団について、新入団員は昨年度に比べ増加しているが、継続して増加していくために今後より一層の広報活動が必要と思われる。
- ・スポーツ推進委員会として、スポーツ普及に関しての具体的な方向性が示された。平成27年度以降、地域での活発な普及活動を行っていく必要がある。

重点目標 4 「文化の薫る地域の振興」

点検・評価項目

【文化・芸術活動の振興】 ……担当課 文化振興課

1 芸術文化活動の普及と振興

(1) 文化・芸術活動を一層発展させるとともに文化協会などの団体を支援、育成する。

ア 事業概要

- ・文化・芸術発展のための素養として、芸術文化に触れる機会の創出
- ・市民の文化・芸術活動への自発的積極的な参加の奨励
- ・各種団体への助成、指導の実施

イ 取組状況

- ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業を市立学校に紹介した。金光竹小学校と金光吉備小学校では落語の鑑賞を実施した。
- ・昭和40年以前の浅口市の姿を写した写真を広く市民から募集し、記録として保存しておきたいという目的も兼ねて、「思い出のあさくち写真展」を開催した。
- ・金光町音楽祭及び天草ふれあい音楽会を開催した。
- ・総合文化祭（金光、鴨方、寄島会場）及び文化連盟総合文化祭を開催した。
- ・文化連盟、文化協会の活動に対して支援や助言を行い、各団体の活発な活動を促した。

成 果

- ・子どもの文化芸術体験事業では、子どもたちが日本の伝統文化を体験し、それに対する理解を深めることができた。
- ・音楽会では、幅広い年代の市民が参加し、出演者と観客が一体となって文化芸術活動に触れることができた。
- ・文化祭では各団体が主体となり、自発的に活動が展開された。

課題・方向性

- ・各団体は自発的な活動を行っているものの、行政に依存する部分も多く、今後より一層の各種団体の自立が求められる。
- ・文化団体と連携を図り、より一層自主的な運営が行われるように、また、文化団体同士でも連携が行われるように、助言と支援を行う。
- ・市民が芸術文化活動に触れる機会を増やすため、文化祭や音楽会等の事業の広報に努める。
- ・合併10年を迎え、事業の効率や市の役割を考えると、文化祭や音楽会など旧町単位で行われている事業を統合、あるいは違った形で開催することを考える必要がある。

自己評価 B

- ・文化芸術振興に係る事業は順調に実施できた。
- ・文化連盟や文化協会も、自主運営によって文化祭を開催するなど、自主的で活発な活動を行っている。

点検・評価項目

【 歴史・文化的資源の保全・活用 】 ……担当課 文化振興課

1 文化財の保護・保存・公開・普及活動

(1) 地域の歴史を伝える貴重な財産として適切な保全に努め、また既存の資料館での公開等により広く普及活動に努める。

ア 事業概要

- ・個人所有等の指定文化財の維持管理
- ・市所有の指定文化財、文化財施設の維持管理、公開
- ・文化財の調査と保存
- ・アッケシソウ自生地の生態調査
- ・埋蔵文化財確認調査
- ・市文化財保護委員会の開催
- ・歴史講座の開催
- ・文化財に関する情報発信

イ 取組状況

- ・個人・法人・地域等が所有・管理している指定文化財については、適切な指導や助言を行った。市指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存活動事業に対し、補助金の支給や民間助成金を紹介し、事業の継続や活性化を促した。また、指定文化財等説明看板の修繕を実施した。
- ・市所有の指定文化財、資料館等の施設については、日常の維持管理とともに、古文書や民具類の燻蒸等を実施した。金光歴史民俗資料館では、企画展「天才建築技師江川三郎八～近代化建築遺産を巡って～」を開催した。
- ・岡山県指定重要文化財の旧高戸家住宅の公開をかもがた町家管理組合に委託し、火曜日から日曜日に開館した。市指定文化財の阿藤伯海旧居は、阿藤伯海記念公園管理組合に委託し、水曜日から日曜日に開館した。
- ・国登録有形文化財への登録推進を行い、金光学園中学高等学校記念講堂、姫井家住宅主屋と長屋門の3件が登録された。
- ・市民団体である浅口歴史探訪会と中世山城である鴨山城跡の整備を協働事業として行なった。
- ・案内看板「龍宮門」1基、文化財説明看板2基（市指定史跡 青佐山台場跡、鴨方藩御用場跡）を修理した。
- ・浅口市指定天然記念物である安倉八幡の大樟の樹木医による診察を行った。
- ・アッケシソウ自生地生育調査研究事業は、岡山理科大学に委託し、寄島町アッケシソウを守る会と協力して調査や保護活動を展開した。
- ・市内の開発に伴う埋蔵文化財確認調査を5箇所で行い、市内遺跡（周知の埋蔵文化財包蔵地）の内容や規模を確認した。その結果に基づいて開発事業者に対して、適切な調整・指導を行なった。
- ・市内に所在する文化財の指定等について、教育委員会の諮問に基づき、文化財保護委員会で審議した。

- ・歴史講座は、中世を考えると題して細川氏の権力構造や岡山県内の中世城館について2回構成で行なった。岡山県生涯学習連携講座事業である県西部の文化は、「小野光右衛門」をテーマに講座を行い、その後、大谷地区のまちあるきを実施した。

成 果

- ・文化財の指定、埋蔵文化財の調査について、進めることができた。
- ・文化財保存団体が行う事業への補助金を適切に支給し、伝統的民俗行事等を支援した。
- ・アッケシソウ自生地内では、日本未確認のキバガによりアッケシソウが枯死する事態となったが、アッケシソウを守る会のご尽力で被害拡大を継続的に阻止することができた。また、秋季の紅葉時期には、綺麗に色づくアッケシソウを再びみることができた。
- ・岡山県を代表する近代建築士である江川三郎八を顕彰する企画展を実施したことで、多くの市民に金光町大谷地区の町並み等について、その歴史や活動の展示や講演会を通じて伝えることができた。
- ・国登録有形文化財3件の登録により、市独自の特色ある文化財の活用の推進により、市民の文化財保護意識の一層高めることができた。
- ・京都大学新天文台建設事業に伴う竹林寺天文台遺跡(鴨方町本庄地内)の確認調査では、弥生時代後期の集落が丘陵南側まで拡がることが確認できた。
- ・あさくち未来デッサン事業では、市民団体と協働で鴨山城跡の整備を行い、地元住民や来訪者に対する理解や関心を深めることができた。

課題・方向性

- ・個人所有等の指定文化財は、今後も所有者等と連携を密にして、指定文化財の適切な維持管理を進めていく。
- ・アッケシソウを守る会と連携して一層の調査保護活動を展開する。
- ・資料館の企画運営等の充実を図るためには、専門職員の学芸員が専念できる体制整備が必要である。また、3館の一体化した所蔵資料の整理を進めていくことに努める。
- ・埋蔵文化財については、工事申請者との開発調整協議を密に行い、基礎構造に遺構への影響がないものを採用してもらうなど、より多くの遺跡が地中にて保存されることに努める。

自己評価 B

- ・アッケシソウ自生地生育調査研究事業は、岡山理科大学の科学的な調査でアッケシソウの保護保全に関する基本的な情報を収集することができた。
- ・資料館所蔵の古写真等の電子化対象資料をさらに増やすよう選定及び検討を行う。
- ・今後は、学校教育や地域と連携した形での文化財の活用や学習機会の提供を図る必要がある。

点検・評価項目

【文化施設の整備・充実】 ……担当課 文化振興課

1 かもがた町家公園の円滑な管理・運営

(1) 歴史公園のもつ特色を活かした公園の管理運営

ア 事業概要

- ・貸館業務
- ・建物見学
- ・水遊び場の開設
- ・かもがた町家管理組合への委託事業

イ 取組状況

- ・市民活動の支援並びに市民相互の交流及び連携の促進のために「交流館」と「ふれあいの館」の貸館事業を行なった。
- ・伝承館（岡山県指定重要文化財「旧高家住宅」）、郷土の館や交流館では、地域の歴史を学び、文化を継承する場として活用した。
- ・水遊び場は、幼児を対象に夏季の7月から8月の期間限定で開設している水深の浅い施設であり、約1,300名の利用があった。
- ・かもがた町家管理組合に伝承館等の案内、公園の清掃、文化事業を委託して事業を実施した。

(2) 来園者に憩いと安らぎを与えられる管理と温かいおもてなしの心の運営

ア 事業概要

- ・かもがた町家管理組合の自主事業
- ・案内看板の増設事業
- ・公園の修繕事業
- ・安心安全事業

イ 取組状況

- ・かもがた町家管理組合に交流館の一部を食堂「まちや亭」として貸出し、近隣の方々の憩いの場となっている。
- ・公園正門北側に施設案内板を新設し、来園者に公園内の導線を明確にした。
- ・公園が開園して16年を迎えており、屋外施設が老朽化や自然災害等で破損した箇所から随時修繕を実施して、来園者の安全に努めた。
- ・不測の事態に備えた文化財火災防御訓練や職員のAED講習の受講を実施した。

(3) 地域に伝わる伝統文化の継承事業の展開

ア 事業概要

- ・かもがた町家公園講座事業
- ・企画展示事業
- ・伝統文化継承事業

・町家塾事業

イ 取組状況

- ・かもがた町家公園講座では、岡山大学落語研究会による「まちや寄席」を開催し、江戸時代から続く芸能や民俗文化を学習する機会を実施した。
- ・企画展は、伝承館で節句にあわせて五月人形（内飾り）展、雛人形展を開催し、屋外で鯉のぼり展示、菊花展を実施した。ふれあいの館では、5月の大型連休に寄贈民具を一堂に会した体験型展示「昔の道具展」を開催した。また、展示事業に伴い、張り子の虎の募集を行なったところ、市内外の方から多くの寄贈を受けた。年末年始では、正月の装いで門松や正月飾りを展示した。
- ・体験事業では、5月の大型連休に草履作り、煎餅焼き、お駕籠乗り等の「昔体験」を日替わりで実施した。また、とんど焼き、投扇興、町家公園茶会を開催した。
- ・江戸時代の町家の魅力を発信するため、弦楽四重奏によるスプリングコンサートを開催した。
- ・町家塾は、各節句の民俗行事、麦稈真田組み、勾玉作り、凧作り、折り紙、万華鏡作り等を小学生30名と保護者を対象に年10回実施した。

2 岡山天文博物館の円滑な管理・運営

(1) 国内最大級の天文台を持つまちとして、その特色を活かした博物館の運営を行う。

また、関係機関と連携し、科学の魅力を伝えることのできる事業を実施する。

ア 事業概要

- ・天文学や天文教育の普及啓発を目指した各種事業や科学への関心を持たせる事業を開催する。また、学校での天文活動の活発化や天文愛好家の育成を図る。

イ 取組状況

- ・夏に「国立天文台の望遠鏡たち」と冬に「切り絵で見る星物語展」を行い、隣接する国立天文台で活躍してきた珍しい望遠鏡や観測器の紹介を行った。また、星座にちなんだ物語を切り絵で表現した作品の展示を行い、天文に馴染みのない方でも美術的な関心から来館していただくきっかけを作った。
- ・岡山天体物理観測所の特別公開（年1回）及び特別観望会（年2回）に共催の形で参加し、工作教室や星に関するビンゴゲームなど、普段の博物館とは異なるメニューで運営を行った。
- ・中学生に天文や宇宙に対する関心や研究の現場を知ってもらう目的で、京都大学と岡山理科大学の宇宙物理学の教室と附属天文台を見学し、学生や研究者から研究内容や志望動機などを聞く研修事業を行い、23名の市内中学生が参加した。
- ・岡山理科大学との教育協定に基づき、天文教育普及と人材育成を目標に同大と連携し、博物館実習や学生ボランティアの受入を行った。
- ・「岡山天文博物館友の会」定期活動の企画・実施を支援した。
- ・その他各種講座・イベント（望遠鏡工作、岡山観測所講座、陶芸教室、プラネタリウムコンサート等）を開催した。
- ・プラネタリウムスタンプカードを市内小学生と来館した市外の小学生以下の子どもに配布し、リピーターを増やすことを試みた。また、掲示用の博物館通信を市内小学校・中学校に配布した。

- ・ 3 公民館、3 図書館及び鴨方駅構内通路の掲示板に、3 ヶ月毎の行事予定やイベントポスターを掲示し、広報に努めた。

成 果

- ・ 歴史公園の魅力を活かした事業を実施することで、入園者数が過去最多となった。
- ・ 国立天文台の観測機器を取り上げた企画展は、日本の天文観測の歴史を知ることができる専門性の高い企画で、ビジターセンターとしての役割を果たせた。
- ・ 大学の見学研修では、施設の見学だけではなく、教授や研究員の方（海外の方も含め）から志望動機や中学高校でしておくべきこと、また国を越えての研究などについて話を聞くことができ、天文教育だけではなく、キャリア教育にも繋がった。

課題・方向性

- ・ かもがた町家公園が魅力ある公園となるよう、今後も引き続き維持管理する。より一層の事業定着に向けて、地域や学校などの理解を深める。また、各事業の指導者の養成が急務となっている。
- ・ かもがた町家公園は、子どもや親子が集う公園というイメージが定着しつつあるが、古の文化や伝統を伝える歴史ある公園が、現代の文化や新しい生活スタイルとどう融合していくかという視点から、30代40代を中心とした大人が集える企画も必要である。
- ・ 天文博物館については、入館者に占める市民の割合が低く、地元のニーズに応える施設運営が求められており、特に出前授業を行うなど学校と連携した事業を考える必要がある。
- ・ 新望遠鏡建設を契機と捉え、館内の展示内容や運営方法を再考し、京都大学や国立天文台の協力も仰ぎながら、新望遠鏡を活用した新しい事業を展開する。
- ・ いずれの施設についても、情報発信は重要な課題である。届いていない所はどこか、そこへどう伝えるかを考える必要がある。

自己評価 B

- ・ かもがた町家公園は、かもがた町家管理組合の連携で特色ある管理運営ができた。
- ・ 公園で地域住民が、地域の歴史や文化や人々の暮らしに親しむことのできる機会を、提供する推進が実施できた。
- ・ 天文博物館は、個々の事業への参加者数は減少していないことから、一定のニーズに応える運営はできているが、施設運営の視点からは、入館者数をもっと増やす工夫が必要である。

重点目標 5 「グローバルな感性を育む国際交流・理解」

点検・評価項目

【 国際交流の推進 】 …担当課 文化振興課

1 姉妹都市（豪州・ティーツリーガリー市）友好提携都市（中国・高安市）との交流

（1）諸外国との友好交流を通じて、国際理解や異文化理解を深め、豊かな国際感覚を育む。

ア 事業概要

- ・姉妹都市提携等に基づき、オーストラリア・ティーツリーガリー市及び中国・高安市との友好交流を行う。

イ 取組状況

- ・夏休みに中学生15名、引率者2名の計17名をオーストラリアに派遣。ティーツリーガリー市役所に表敬訪問したほか、モデブリー高校生宅にホームステイしながら高校の授業に参加し、またスポーツや調理実習、遠足を通して高校生との友好を深め、オーストラリアの文化を体験した。
- ・3月にオーストラリアの原住民アボリジニに伝わる「アボリジニアート」を紹介し、体験する国際理解講座を実施した。

2 コミュニケーション能力の向上

（1）英語でのコミュニケーション能力を高めることで、国際社会に飛び込んでいく勇気と自信を持った青少年を育成する。

ア 事業概要

- ・市主催の事業や国際交流協会の活動を支援することで、子どもの時から英語や外国の方に親しみ、また語学力を養う機会を設ける。

イ 取組状況

- ・11月に「浅口市長杯中学生スピーチコンテスト」を開催したところ、26組33名の中学生が英語教諭やALTの指導の下、スピーキング能力を磨き、コンテスト当日には多くの聴衆を前にジェスチャーを交えながら表現豊かに発表を行った。
- ・外郭団体である国際交流協会が実施する、外国人との交流事業「英語で国際理解講座（年9回）」や「国際交流フェスティバルIN子どもまつり」を通して、一般市民や子ども達が気軽に外国の方と会話ができる機会が持てるよう支援を行った。

成果

- ・派遣された中学生の中には、ステイ先の生徒と今もメールでの交流が続いている生徒があり、交流を通じて異文化理解が深まっている。
- ・スピーチコンテストでは、ALTの審査員を1人増やし、4人の内2人がネイティブとなったことで、発音等の審査はより本物に近い、正確なものとなった。

課題・方向性

- ・中学生の海外派遣事業は、多感な時期に雄大な自然と異文化を体験できる貴重な機会なので、学校とも協力しながら積極的なPRを行い、多くの中学生が関心を持つように努める必要がある。
- ・異文化交流では、相手の文化を知ると同時にこちらの文化を伝えることが必要なことから、まずは子ども達に浅口市や日本の伝統文化を知ってもらう必要がある。
- ・市内には100人余の外国人が暮らしているが、生活・就職・進学等の通常支援に加え、異常気象や地震がもたらす災害時の支援も視野に入れ、国際交流協会や他の担当課、そして関係機関が情報交換をしながら、協力していく必要がある。

自己評価 B

- ・姉妹都市との交流を今までどおり継続することができた。
- ・昨年に引き続き、オーストラリアの民族文化を体験することで、異文化に対する理解をより深められたが、参加者が少ないので開催方法を再考する必要がある。
- ・スピーチコンテストについて、1年生から3年生までが積極的に参加をしており、また各ALTも熱心に指導に当たっている。審査員からも発音等のレベルが高いと評価された。

重点目標 6 「人権の尊重・男女共同参画社会の確立」

点検・評価項目

【人権啓発、人権教育の推進】 ……担当課 生涯学習課

1 人権教育の推進

(1) 人権問題に関する正しい理解と認識を深めていくための啓発、研修活動の実施

ア 事業概要

- ・会議や研修活動を通して、全ての市民の基本的な人権が尊重される社会の実現

イ 取組状況

- ・事業計画の審議、研修活動として講演会及び視察研修を実施した。

(2) 学校教育、社会教育との連携のもと、人権教育の総合的な推進

ア 事業概要

- ・幼稚園、小学校、中学校 P T A 人権教育の推進

イ 取組状況

- ・幼稚園、小学校、中学校と連携し、保護者を対象に講演会やワークショップを取り入れた人権教育研修会を実施した。
- ・特に幼稚園の P T A 人権教育研修会では、人権教育推進委員も参加し、グループの話し合いをサポートした。

2 人権啓発・教育の指導者・リーダーの養成

(1) 学校、家庭、地域、職場、関係団体機関など、人権啓発・教育の中心となる指導者リーダーの養成

ア 事業概要

- ・学校、家庭、地域、職場などで、人権啓発・教育のリーダーの養成を行うため、人権問題の正しい知識と理解などについての研修の実施

イ 取組状況

- ・人権教育指導者養成講座を実施した。

3 男女共同参画促進のための事業推進

(1) 各種教室、研修会において男女共同参画についての理解の促進

ア 事業概要

- ・学校、家庭、地域、職場などで、人権啓発・教育のリーダーの養成を行うため、男女共同参画社会についての研修も実施した。

イ 取組状況

- ・人権教育指導者養成講座を実施した。

成果

- ・人権教育指導者養成講座を、子育てと向き合う保・幼・小・中学校の保護者並びに各種団体及び地域での中心的立場の方々を対象に、開催することができた。
- ・ジェンダー、同和問題、高齢者、障害者等、人権課題について、正しい理解と人権意識の高揚が図れた。
- ・幼稚園のPTA人権教育研修では市内の幼稚園の保護者を対象に、子どもの人権について、ワークショップ等を取り入れながら分かりやすい研修を行い、幼児虐待防止の意識を高めた。

課題・方向性

- ・指導者養成講座について、その時代、時期に応じた課題をテーマとした講座を開催するよう努力するとともに、講座の修了生が継続的に研修できるプログラムの企画・運営をしたり、すべての市民の人権が尊重される社会、また、男女共同参画社会の実現のために、内容の工夫をより一層図ったりする必要がある。
- ・小学校・中学校のPTA人権教育研修会では、一部を除いて参加者が少なく、研修内容・日程等の工夫が必要である。

自己評価 B

- ・当初の人権教育推進協議会総会での計画に沿って人権教育を推進することができた。
- ・それぞれの活動、研修において正しい理解、人権意識を高めることができ、参加者が主体的に関わる活動を実施することができた。
- ・継続的に研修できるようなプログラムを具体化していく必要がある。

浅口市教育委員会評価委員の総合評価（平成26年度事業分）

評価委員 金光 英子

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育目標が健やかな心を育む学校教育の充実と心に配慮しているのはよいと思う。特に心の教育は学校の職員だけでは難しいので、外部講師やボランティア等地域人材を活用できているのは望ましい。健やかな心を持てば、おのずと向上心もわき、延いては学力向上につながる。

可能なら、将来的展望をもって人材育成をはかれる組織や体制づくり、ベテランの職員から学べる人が育つ人員配置が望まれる。図書館と資料館については、市立図書館の中央館に館長を置き、分館2つを総合的に運営するのが望ましい。

2. 学校教育課

浅口市学力向上No.1プロジェクト研究推進委員会を設け、学習時間の確保や基本的な生活習慣の育成など岡山県との事業連携した取り組みを展開したことは評価できる。学習指導方法の工夫や改善のために、研究授業や校内研修について現場にまかせっぱなしではなく、研究指定校に指導主事を派遣し、研究推進の支援をしたのは望ましい。

いじめ防止のための「浅口市いじめ問題対策基本方針」は評価できる。全国で全力をあげていじめに取り組んでいる中で岩手県矢巾北中学のような重大な事態が起ったのは残念である。浅口市は大丈夫だとは思いますが、いじめ対策に総力をあげて取り組み、いじめの兆候の情報共有に努めて欲しい。

親育ち応援学習のような親子、保護者同士の関係の緊密さ、さらに教職員と保護者、教職員同士の関係の緊密さが、学校教育のすべての向上につながると思う。若手、中堅の教員研修講座を実施し成果があったのは、素晴らしいことである。職能ともに、人脈の豊富さは教員の資質向上につながると思う。

中学生の職場体験学習や夏のボランティア活動は、学習意欲の向上や目標設定に役立つので、中学生に体験してもらい向上心を養ってもらいたい。

「ホリデーわくわく学習支援事業」は、教師でもなく保護者でもない大人などが講師になり、地域社会と連携できる良い事業なので、さらなる効果的な改善をはかりつつ推進することを望む。

3. 文化振興課

総合文化祭の他、文化連盟総合文化祭・総合美術展が、開催されたことは評価に値する。金光町音楽祭・天草ふれあい音楽会が開催され、多くの市民が参加できたことは望ましい。しかし、旧3町が一体となった芸術文化に触れたり、発表したりする文化活動が望まれる。

市民参加の総合文化祭が継続されていることは、評価に値する。浅口市文化協会は、会員数が減少しているという。さらなる文化振興をはかるため、ニーズにあった講座の開設や市民全体の一体感や新たな講座・講師発掘が望まれる。

永年の懸案であった文化財の指定がなされ、資料の整理や資料台帳作成が進められたので、さらなる調査研究や市民に対する展示活動の進展が望まれる。

かもがた町家公園や岡山天文博物館が市民の文化の伝承や憩い・生涯学習や学校教育に

果たしている役割は大きく、誇れる財産だと思う。この活動と同じように、金光や寄島の歴史民俗資料館でも、活動が各地域、各年齢を対象にしたものに広がることを望む。せっかくの展示が一部の好事家にとどまらず、市内全域の方々に参加しやすい場所に出向く、他のイベントと連携する、巡回展示を開催するなどの工夫が期待される。

国の登録有形文化財に新たな3件が加わり、文化財の活用の推進が望まれる。

4．生涯学習課

老人大学は、市民が楽しみながら学べる良い企画であり、参加者も多い。しかし、名称を天草学級のようにもっと親しみやすいものにしたらどうか。

青少年育成事業としての「市民学級」は良いので、もっと展開したものを企画し、参加者の増加をはかってはどうか。

図書館活動の推進に力をいれたのは良い。図書館は自ら楽しみながら学ぶ生涯学習の拠点であるが、利用が一部の人に偏りがちなので、可能な限り多くの人に利用されるよう、利用者を増やす必要がある。

スポーツ活動の振興については、施設の整備も進み体育協会やスポーツ少年団などの各種団体との連携、協力、育成がはかられており、市民への広報も浸透しているようである。生涯学習の推進、公民館、社会教育団体、青少年団体、人権教育などは、概ね適正に運営されていると思う。

生涯学習の場として、公民館・博物館・資料館が様々な活動をしているのは、評価に値する。市民のニーズに応じた各種講座もなされているようだ。さらに、団塊の世代の人々に参加するのみならず、教える側に立つ講師として活躍してもらってはどうか。

図書館が各町に1館ずつでき、その連携ができたのは当然であろう。図書館における奉仕は、向上してきている。しかし、市内3図書館を有効に活用するには、3図書館の館長を1人にするべきであろうし、司書の雇用形態を整えるのが望ましい。

5．総合評価

教育委員会の運営状況は、概ね適切に執行されていると思う。

全体として教育行政重点目標の立て方もよく、取り組み方もよいので、それなりの成果があがっていると思う。成果があるので、さらなる課題や方向性も見極められ、次なる施策の策定が立てやすくなっていると思う。しかし、社会教育施設、特に、浅口市内の公立3館・私立1館の図書館や公民館・資料館・図書館のさらなる連携が望まれる。各学校と公民館・図書館・博物館などの連携をさらに強化すれば、それぞれの活動や学力向上につながると思われる。

浅口市文化協会は、会員数が減少しているという。文化の底上げのためにも、会員増加に力をいれてほしい。さらに、会員による子どもたちとのふれあいを増やし、学校や社会教育団体と連携し人材の育成につなげてはどうか。

評価委員 貝畑 正己

1．目標・組織・会議等

「教育委員会の活動状況」については、定例会・臨時会と開催され、教育行政の方向性や喫緊の教育課題への対応についての協議・規則の制定・研修等適切な対応がなされている。

今後、浅口市の教育目標「地域づくりは人づくりから」を具現化するためには、浅口市の教育行政全般（学校教育・生涯教育等）の課題を捉え、浅口市の教育の特色を明確にして、教育行政基本方針のもと具体的な指導・支援を一層推進していただきたい。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、将来の市の人材育成のためにも、予算を確保しつつ事業の充実が大切である。

2．学校教育課

「学校教育の充実」は、学力の向上、心の教育、体育・健康教育、人権教育、特別支援教育、教職員の適正な配置と人事管理の視点をもとにして各学校・園の教育活動への支援により充実が図られている。

学力・学習状況の改善にむけては、学力向上No.1プロジェクト事業として、学習時間の確保、教師の生徒（生活）指導・学習指導への指導力向上に向けて研修会を実施する等の取組がなされている。また、家庭生活や地域の生活も学力向上には重要であると思うので、関係課・学校等と連携しながら本年度以上に落ち着いた環境作りを推進していただきたい。

喫緊の教育課題である不登校・非行問題・特別支援教育については、教育行政・専門機関・行政部局の連携強化により、学校・園・家庭をサポートして課題解決へと進めていただきたい。それが、教職員の多忙感の解消や若者の子育て希望の醸成へと繋がればと思う。

3．文化振興課

「文化芸術の振興」は、各団体等への支援により文化祭等の文化芸術活動が推進できている。

「歴史・文化的資源の保全・活用」は、アクセシソウや歴史的文化財の保護、文献資料の整理保存を建築家江川三郎八頭彰や体験学習・公開展示により、市民が文化的資源を身近に感じ、歴史・文化・自然的資源の保全が進められている。今後、将来古文書資料になる現在の行政資料や歴史的資料・民俗的資料を保存・維持管理する人的配置や施設の整理が必要である。

「文化施設の整備充実」は、町家公園における特色ある維持管理、天文博物館では大学・中学校と連携して専門性の高い講座が開かれた。

「国際交流の推進」は、姉妹都市や友好提携都市との交流がなされた。今後、小学校に英語教育が導入される中、海外派遣や外国人(ALT 配置)受け入れ等の市の先進的な取り組みを生かして国際感覚を育成することが期待される。

4．生涯学習課

「生涯学習の充実」は、あらゆる機会、あらゆる場所での理念をもとに多種多様な学習の

場が提供できている。今後、少子・高齢化社会を見通して、多様な学習機会の確保と同時に精選していく必要もある。

「生涯学習施設の整備」は、公民館では市民の利便性を考えた改修が行われた。

「青少年健全育成の活動支援」は、青少年健全育成、家庭教育の推進、読書活動の推進等を進められた。地域・学校・家庭の教育力をリンクしての活動支援が青少年健全育成になると思う。そのための予算化も大切である。

「人権啓発、人権教育の推進」は、人権教育推進協議会の計画をもとに推進できた。今後、現代化した講座の内容（情報社会のいじめ等）や学習方法の工夫により充実されることが必要である。

5．総合評価

報告書では、本年度の目標をもとに適切な評価がなされ、将来へ向けての教育行政の課題や方向性も示されている。様々な事業が計画立案・実施がされているが、事業等の名称が市民に理解しにくい面がみられるように思う。

評価システムを生かすためには、今後、浅口市の将来へ向けての理念やグランドデザインをもとに具体的な目標を設定し、計画・実施・点検・評価を再度実施され、新しい施策を進めて、教育行政諸活動の充実・発展させていくことが大切である。

評価委員 作田 雅利

1. 目標・組織・会議等

浅口市の教育目標は、「地域づくりは人づくりから」の共通認識のもと、6つの重点目標を掲げて教育を推進しており、市教委発足以来ゆるぎないものである。組織も適切で、全職員は使命感をもって職務に取り組んでおり、各課の担う教育目標の達成に向け努力していることを評価したい。

教育委員も自主研修の時間を設定して総合教育会議や教育委員会制度の改正について研修を深めたり、先進地の視察により認定こども園について研究するなど積極的な努力の姿勢に対し敬意を表するものである。

願わくば、教育委員会は常に現場教職員のために泥をかぶる覚悟で臨み、学校や地域から信頼される委員会であってほしいと思うものである。

2. 学校教育課

各学校（園）については、校（園）長のリーダーシップを信頼し、教職員が確固たる使命感のもとに指導に取り組んでおり、どの学校も落ち着いた状態であると評価できていることは素晴らしいことである。

生きる力の育成のための学力向上について、「授業力の改善」だけでなく「基礎学力の定着」と合わせ、2本柱として取り組んでいることは高く評価したいが、学力向上の視点を平均点の向上だけに満足するのではなく、一人の落ちこぼれも作らない、つまり分からないまま進級させることのないよう努力していただきたいと願うものである。

最後に、教職員の適正な配置と教職員の資質の向上を図ることはもちろん大切であるが、学校マネジメント支援の観点や事務の効率化を図り、子どもと向き合う時間の確保に向けて一層の努力を願うものである。

3. 文化振興課

文化・芸術活動の振興については、文化連盟や文化協会が、多くの生きがいづくりや自己実現を目指す市民の活動拠点として自主的な活動を展開しており、大きな成果を上げていることは、教育委員会の指導助言によるもので心から敬意を表するものである。

ただ、浅口市も合併10年を迎えるのを機に芸術・文化・体育の各部門について、文芸では「文学賞」を、美術では「浅口市美術展」を、体育では「陸上競技大会」のような市民全体で腕を磨き合える、また、将来ある若者にとっては「登竜門」として挑戦できる事業を計画実現してほしいと念願するものである。

歴史・文化的資源の保全活用については、アッケシソウ自生地の想定外の害虫被害による絶滅寸前の状態を、岡山理科大学との共同研究により「守る会」の努力で被害拡大を阻止し、見事な紅葉を復活できたこと、国登録有形文化財3件の登録実現、鴨山城跡の整備など市民や地域団体との協働により大きな成果を上げている。

国際交流の推進では、中学生の海外派遣事業で姉妹都市との交流を継続できているが、参加者が少ないことに課題があり、今後緊急に開催方法について再考する必要がある。

4．生涯学習課

生涯学習の充実については、市民のニーズに対応した学習機会の拡充によって生涯学習の楽しさを知り、市民学級の参加者が増加していることを評価したい。

青少年の健全育成活動については、子ども育成条例に基づき、浅口市地域共同体が連携して地域を挙げて子どもを育てる取り組みを行っていることを高く評価したい。

また、親育ち応援事業として「親力アップ子育ていきいき塾」を開催したり、親子のふれあいを目的とした「ゆうき学級」を開催したことも新しい試みとして評価できる。

スポーツ活動の振興については、浅口市スポーツ振興計画に基づき、スポーツ推進委員を中心に進められており、引き続き生涯スポーツの普及推進に努めていただきたい。

5．総合評価

各課とも課長を中心に、それぞれ使命感をもって目標達成に向かって努力されていることに心から敬意を表するものである。

自己評価については、いずれも厳しく点検評価されており、妥当な評価であると思う。また、課題・方向性も適切な指摘がなされており、確実に改善に向かって努力されることを期待してやまない。

最後に、各課ともこの点検評価が確実にフィードバックされ、来年度に生かされるよう願うものである。

【資料1】 平成26年度 園児・児童・生徒数（5月1日現在）

種別	学校名	区分	1年 (年少)	2年 (年長)	3年	4年	5年	6年	特別支援 学級数	計
幼稚園	金光	園児数	43	34	***	***	***	***	***	77
		学級数	2	1	***	***	***	***	***	3
	鴨方東	園児数	27	36	***	***	***	***	***	63
		学級数	1	2	***	***	***	***	***	3
	鴨方西	園児数	22	20	***	***	***	***	***	42
		学級数	1	1	***	***	***	***	***	2
	六条院	園児数	29	36	***	***	***	***	***	65
		学級数	1	2	***	***	***	***	***	3
	寄島	園児数	11	14	***	***	***	***	***	25
		学級数	1	1	***	***	***	***	***	2
合計	園児数	132	140	***	***	***	***	***	272	
	学級数	6	7	***	***	***	***	***	13	
小学校	金光竹	児童数	7	7	9	15	17	10	***	65
		学級数	1	1	1	1	1	1	0	6
	金光	児童数	50	62	59	60	55	55	***	341
		学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
	金光吉備	児童数	23	32	31	46	25	25	***	182
		学級数	1	1	1	2	1	1	2	9
	鴨方東	児童数	70	57	66	57	63	63	***	376
		学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
	鴨方西	児童数	22	29	23	40	30	24	***	168
		学級数	1	1	1	2	1	1	2	9
	六条院	児童数	63	66	64	62	65	69	***	389
		学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
	寄島	児童数	28	30	29	41	40	36	***	204
		学級数	1	1	1	2	1	1	2	9
合計	児童数	263	283	281	321	295	282	***	1,725	
	学級数	10	10	10	13	10	10	14	77	
中学校	金光	生徒数	91	104	79	***	***	***	***	274
		学級数	3	3	2	***	***	***	1	9
	鴨方	生徒数	138	152	157	***	***	***	***	447
		学級数	4	5	5	***	***	***	2	16
	寄島	生徒数	39	44	50	***	***	***	***	133
		学級数	1	2	2	***	***	***	2	7
合計	生徒数	268	300	286	***	***	***	***	854	
	学級数	8	10	9	***	***	***	5	32	
				小・中学校の総計				全児童生徒数		2,579
								学級数		109
				総合計 (幼+小+中)				全園児・児童生徒数		2,851
								学級数		122

【資料2】 平成26年度 学校・園及び教職員の研修一覧

1 研究指定校について

番号	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	発表会等期日
1	平成25～ 26年度	幼稚園教育研究 発表会		鴨方西幼稚園	幼教研 市教委	H26.10.9
2	平成25～ 26年度	魅力ある授業づく り徹底事業	授業改善	寄島小学校、 寄島中学校	県教委	2年間で合計 10回
3	平成25～ 26年度	キャリア教育実践 モデル開発事業		鴨方中学校区	県教委 文科省	

2 公開（研修）講座会場校

番号	指定期間	研究指定事業名	教科・領域	指定校名	指定区分	公開期日
1	平成26年度	小学校初任者研修講 座	道徳	金光小学校	県総合教育セ ンター	H26.10.16
2	平成26年度	小学校理科ステップ アップ研修講座	理科	六条院小学校	県教委	H26.10.22

3 教職員研修

番号	研修名	対象校	対象者	希望・悉皆別	開催日	日数	備考
1	平成26年度浅口 市教職員全員研 修会	市内幼稚園、小 学校、中学校	教職員全員	悉皆	H26.7.31	1	市
2	若手教員パワー アップ研修講座	市内幼稚園、小 学校、中学校	若手教職員等	希望者	H26.8.6	1	市 井原市 里庄町 矢掛町 早島町

【資料3】 平成26年度 教育委員会関係施設等の利用者数等一覧

平成26年4月1日～平成27年3月31日

所管課・室	施設名	利用者数	備考
生涯学習課	中央公民館	46,514 人	
	鴨方図書館	108,312 冊	蔵書数 134,075 冊
	天草公園	96,664 人	
	プラザ	24,224 人	
	B & G 海洋センター	10,919 人	
文化振興課	岡山天文博物館	11,504 人	
	かもがた町家公園	35,988 人	伝承館:2,563 人
	阿藤伯海記念公園	3,227 人	
	鴨方郷土資料館		データなし
金光分室	金光公民館	34,169 人	
	金光歴史民俗資料館		
	金光さつき図書館	65,551 冊	蔵書数 45,454 冊
	遙照山総合公園	3,357 人	
	金光駅西公園	16,163 人	
	金光スポーツ公園	23,546 人	
寄島分室	寄島公民館	4,351 人	
	寄島図書館	23,333 冊	蔵書数 18,219 冊
	ふれあい交流館サンパレア	17,191 人	
	B & G 海洋センター	16,606 人	
	寄島郷土資料館	103 人	
	三ツ山スポーツ公園	55,072 人	
	寄島コミュニティーセンター	3,185 人	
	寄島運動場	4,659 人	
	寄島東体育館	1,641 人	
	寄島武道館	4,152 人	
	寄島テニスコート	2,538 人	
	フットサル場	16,308 人	
	寄島東公民館	1,205 人	
	寄島東部グラウンド	5,813 人	

【資料4】 平成26年度 生涯学習・社会教育事業及び公民館事業の実績

【生涯学習課及び分室】

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容・評価
生涯学習推進事業	漢字検定	年3回	市民一般	日本漢字能力検定協会準会場	6/7 46人 11/1 37人 1/31 40人 金光公民館にて実施
	市民学級	年7回	市民一般	料理・防災・移動学習等	54人参加 6月「開講式・俳句教室」 8月「人権感覚を磨こう」 10月「研修旅行 黒田官兵衛大河ドラマ館・姫路城」 10月「子どもたちと岡山フィルハーモニック管弦楽団を楽しもう」 12月「和食」 1月「手打ちそば」 2月「防災教室・閉講式」
	老人大学（金光、寄島地区） 天草学級（鴨方地区）	年7回程度 × 3公民館	概ね65歳以上の市民	趣味、教養、健康体操、レクリエーションなど	金光46人、鴨方66人、寄島73人 各館7回程度のバラエティに富んだ講座を開催
家庭教育関係事業	家庭教育支援事業「親力アップ！子育ていきいき塾」	6小学校	保護者教職員	子育てやしつけなど家庭教育の在り方を見つめ直す研修会	学童期子育て講座・就学時健診等を利用した子育て講座 市内7小学校にて実施
	ゆうき学級（家庭教育学級）	年2回	幼小とその保護者	親子ふれあい事業	7/24 レクリエーションダンス 3/14 ラダーゲッター
青少年育成事業	成人式	1月11日	新成人	式典 実行委員会による立食パーティー	1/11 ふれあい交流館サンパレアホール 対象者357人 出席者数289人
	青少年育成活動協議会研修会	2月20日	市民一般	親や地域の青少年に携わる大人に対して、現代社会における課題についての研修	2/20 13:30～ 健康福祉センター多目的ホール 明るい家庭づくり優秀作文の発表 講演「命とチームがキーワード」

	子ども週末体験活動 (放課後子ども教室推進事業)	年間 週末 × 3 公民館	幼小中	自然体験・体験活動	ウィークエンドわくどき体験 中央公民館7講座143人応募 金光さつきっ子教室 金光公民館5講座108人応募 三つ山っ子教室 寄島公民館4講座37人応募 国県補助 571千円
	夏GAKUサブリ	8月 3公民館	小中	学習講座	中央公民館 3日間20教室のべ659人参加 金光公民館 4日間17教室のべ688人参加 寄島公民館 4日間10教室のべ143人参加
	みんな集まれ あさくちっ子わくどき体験	期間限定	幼小中	自然体験・体験活動	夏休み期間中31イベント開催 (メモホルダー作り・ブーメラン作り・図書館員体験・陶芸教室など) 冬休み期間中15イベント開催 (七草がゆ作り・キャンドル作り・そば打ち・プラネタリウムなど)
	ふれあい移動動物園	年1回	市民一般	「あそびフェスタ」の共催事業として親子のふれあいを目的に開催	11/2 9:30~15:00 ふるさとかもがたプラザ 約500人参加
	少年少女合唱団ひまわり	年間	市内小学生	月2回	団員16名 毎月第1・3土曜日 10:00~12:00 浅口音楽フェスティバルをはじめ年間3回程度発表会に出演。 第9回ひまわりコンサート開催。
	浅口市青少年育成指導員連絡協議会	年間	指導員	定例補導・特別補導・列車補導	定例補導：月3回 特別補導：年5回 列車補導：年6回
人権教育推進事業	人権教育指導者養成講座	年7回	受講申込者	講義・視察研修	83人 6月開講式、12月閉講式 月1回のペースで人権問題の正しい知識と理解等について学習。 10月視察研修 (福山市人権平和資料館・ホロコースト記念館)

	P T A 人権教育研修会	小学校・中学校 各1回	PTA会員	講演会	市内7小学校、3中学校においてP T A対象に実施
	幼稚園 P T A 人権教育研修会	各園	PTA会員	ワークショップ	各園90%以上の出席 10月六幼 11月鴨東幼・鴨西幼 1月金幼・寄幼 (人権教育推進協議会委員のサポーターと共に小グループで学習した)
学社融合	学校支援地域本部事業 (人材派遣育成事業)	年間	幼小中	学校からの要請に応じて 支援者の派遣	各学校からの要請に応じて支援者を派遣
スポーツ振興事業	総合型地域スポーツクラブ 育成支援事業	通年	市民一般		N P O 法人あさくちスポーツクラブの活動を支援 (入会の受付事務及び各教室の参加受付窓口等)
	スポーツ少年団 育成支援事業	通年	スポーツ少年団	4月入団式 1月スポーツテスト交流大会	入団式及び、スポーツテスト交流大会を通じて団員及び指導者相互の親睦を図る
	市民体育祭	5月 9月 10月	市民一般	旧町毎に実施	金光大会 約1,600人 鴨方大会 2,000人 寄島大会 約1,500人
	浅口市マラソン大会	12月 1回	市民一般		参加者数764人
	ナイターソフトボール大会	5・6月	市民一般		10チーム約150人参加
	リレーソフトボール大会	7月7日	市民一般		参加チームのリレーにより長時間の試合を行う
	体力テスト交歓大会	12月 1回	スポ少団員		70人
	アクアビクス教室 (寄島)	6月より 10回	大人	アクアビクス	11人

ナイターペタンク大会	7月7日	市民一般	ペタンク	40チーム 82人
海洋クラブ	4~9月 3月 毎週土曜日	児童・生徒	カヌー・ヨット等の海洋性レクリエーション	10人 7月県大会（OPヨット、中学生の部優勝、高校生の部2位入賞）
フットサル大会	5月 10月	大人，親子	フットサルの勝抜き大会	第14回 20チーム256人 第15回 19チーム186人
フットサルリーグ	5~7月	大人	フットサルのリーグ戦	5チーム 67人
アクアビクス教室（鴨方）	5~8月 12回	大人	アクアビクス	参加者21名
幼児水泳教室	5~7月 5回	幼稚園児	幼稚園児対象の水泳教室	参加者5名
児童水泳教室	5~7月 5回	児童	水泳が苦手な子向け	参加者28名
水泳指導者養成教室	5月 1回	大人	児童水泳教室講師育成	参加者7名

【公民館講座】

事業名		期間・回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容
浅口市中央公民館	ゼロから始める暮らしのペン・筆ペン習字	第2・4土曜日	市内 在住 在勤 在学		受講生28人 ペン・筆ペン習字を基礎から学ぶ
	楽しい手編み	第2・4火曜日			受講生11人 初心者のための編み物講座
	楽しい中国語	毎週日曜日			受講生17人 日常会話の基礎や中国の習慣などを学ぶ
	楽しい陶芸	第1火曜日			受講生11人 土の手触りを楽しみながら器などを作る
	基礎から学べる詩吟	第1・3火曜日			受講生19人 姿勢や発声を学びながら詩歌吟詠のすばらしさを体験する
	やさしい水墨画	第1・3金曜日			受講生12人 構図の基本や墨の濃淡など基本技術から作品製作までを学ぶ
	やさしい書道	第2・4日曜日			受講生9人 かい書、行書の基本を学習し、書に親しむ心を大切に、書く喜びを楽しむ
	楽しい韓国語	毎週木曜日			受講生24人 読み・書き・話すといったコミュニケーション全般を基礎から学ぶ
手打ちそば入門	第2・4日曜日	受講生13人 コネ・延ばし・そば切りなどの行程を学ぶ			
金光公民館	簡単ランチとスイーツ入門	第4日曜日	市内 在住 在勤 在学		受講生24人
	庭木の手入れ入門	第4土曜日			受講生28人 剪定の仕方、農薬の使い方を学び丸山公園などでの実施講習
	絵手紙入門	第4木曜日			受講生11人 初心者の方から自分の個性を生かした作品づくり
	楽しくウォーキング入門	5月～3月 9回			受講生37人

	英会話入門	第2・第4火曜日		受講生 16人 初歩からの英会話を学ぶ
	男の料理入門	第2日曜日		受講生 23人 ご飯の炊き方から味噌汁、煮物などの料理を学ぶ
	木工入門	第2・4金曜日 第2・4土曜日		受講生 11人 お皿やお盆、いろいろな作品にチャレンジ
	韓国料理入門	第4金曜日		受講生 12人 チョンマルマシッタ本当においしい韓国料理を！
	お菓子作り入門	第4土曜日		受講生 16人 ちょっとした工夫でカロリー控えめのお菓子づくり
金光公民館短期講座	御嶽山・青佐山トレッキング	5月13日	市内 在住 在勤 在学	受講生 30人
	安心して使えるアロマ虫よけスプレーを作ろう	6月28日		受講生 20人
	自分だけのミニかごを作ろう	6月29日		受講生 10人
	楽しいマジック入門	10月5日 11月2日 12月7日		受講生 14人 (3回講座)
	粟島・志々島トレッキング	11月19日		受講生 38人
	手作りハンコに挑戦しよう	12月9日		受講生 15人
	年末恒例！年越しそば打ち	12月28日		受講生 20人
	コサージュをつくってみよう	2月29日		受講生 6人
寄島公民館	陶芸	第1土曜日	市内 在住 在勤 在学	受講生 7人
	ガーデニング	第3金曜日		受講生 17人
	ヨガ	第2水曜日		受講生 32人
	手話	第2・4木曜日		受講生 13人
	パステルアート	第1金曜日		受講生 4人

【文化振興課及び分室】

事業名		期間回数	対象	事業内容	開催日・実績・内容
文化・芸術関係事業	古文書同好会	年10回	市民一般	近世、近代の興味ある史料にふれる	第2日曜日13:30～ 16名
	歴史講座	年2回	市民一般	中世の浅口地域を考える歴史学習	2/15 「中世後期細川氏の権力構造」 85人 3/7 「発掘調査から分かった中世城館」 71人
	金光町音楽祭 天草ふれあい音楽会	年1回	金光・鴨方地区小中高文化協会	各種団体による音楽発表会	11/16 13:00～16:30 金光公民館大ホールにて開催 10団体が合唱合奏を披露 11/22 13:30～15:00 中央公民館大ホールにて開催 6団体が演奏、合唱披露
	総合文化祭	年1回	一般	市民による芸術文化の発表	10/25、26 展示発表・芸能発表 金光会場 約1,500人来場 鴨方会場 約1,700人来場 寄島会場 約1,000人来場
	金光遙照太鼓教室	年間	市内小中学生	郷土の文化伝承	5～3月の間、毎週火曜日の夜を中心に活動をした。第12回金光キッズフェスティバルへ出演 受講者数21人
	金光キッズフェスティバル	12月	金光地区園児小中学生	学校・公民館・地域での学習成果の発表	12/21 金光公民館大ホール・各部屋で舞台の部15団体、展示の部25団体が出演・展示し、6つの体験コーナーなど多くの来館者(約1,000人)があった。
	思い出のあさくち写真展	年1回	一般	浅口の原風景を撮影した写真の募集・展示	10作品応募
国際交流事業	青少年海外派遣事業(オーストラリア)	1回	市内青少年	友好提携都市への青少年の派遣	7/27～8/5 中学生15人 引率2人を派遣。ティーツリーガリー市ほか
	国際理解講座	1回	市民一般	外国の文化や歴史等を知ってもらうために講演やワークショップを行う。	3/14「アボリジニでオーストラリアに触れよう！」TG市出身のALTから豪州の話を聞き、アボリジニアートを描いて楽しむワークショップを実施。 7人

	中学生英語スピーチ コンテスト	年1回	市内在住 学中学生	中学生の英語スピー チコンテスト	11/11 創作の部18組21人、暗唱の部8組 12人 計26組33人が出場
岡山天文博物館事業	宇宙 自然講座	年5回	一般	天文及び自然分野に關す る一般講座。	4/19、9/27、11/8、2/1、3/22 年5回 参加者計 約150人
	望遠鏡を作ろう！		一般	望遠鏡キットを使って 望遠鏡作り	4/26、7/26、8/24、11/11 70人
	陶芸教室		一般	プラネタリウムを見 て、そのイメージを絵 付けする。	7/19、8/2 20人
	全国七夕講演会		一般	「七夕にまつわる星の はなし」	7/5、6 20人
	天体観望会	年5回 (うち8 月は台風 で中止)	一般	望遠鏡の使い方の説明 季節の星座の観望	5/10「月と火・木・土の3惑星をめぐる 夜」 10/8「皆既月食を見よう」 12/13「ふたご座流星群を見よう！」 2/14「カノープスを見よう！」計200人
	国立天文台岡山天 体物理観測所 特別公開	8月末の 土曜日	一般	博物館が共催。博物館 では子ども向けのイベ ントを実施	8/30 800人の来場者
	国立天文台岡山天 体物理観測所 特 別夜間観望会	春と秋	一般	博物館が共催。プラネタ リウム室で天体・星座紹 介及び15cm屈折望遠鏡 にて観望	4/5、11/1 250人
	プラネタリウムコ ンサート		一般	星空解説と生演奏	6/15 30人 11/9 31人
	クリスマス プラ ネタリウム		一般	プラネタリウム室でクリ スマスにまつわる星のお 話	12/21、23 計80人
	展示企画展	2回	一般	夏企画展「国立天文台 の望遠鏡たち」 冬企画展「切り絵で見 る星物語展」	7/19～8/31 3,500人(来館者) 12/6～3/1 1,500人(来館者)
	ちびっこばらねた りうむ	毎月2回 水曜日と 土曜日	乳幼児と保 護者	子ども向けプラネタ リウム投映とお話会	毎月水曜日と土曜日に各1回、計24回開 催。350人が参加。
かがく広場	年6回	小学生	身近なものを使った 実験や工作を通して 科学の不思議を学ぶ。	5/25、6/22、9/28、11/23、1/25、 2/22「ダンシングアニマル 磁石で遊ぼ う」他 計100人	

	七夕企画「ほんの少し星に近いところからあなたの伝えたい想いを叶えます」		一般	メッセージを預かって星のパワーを込め、七夕に間に合うように郵送する。	6/3～7/5 計57人
	「プラネタリウム&4Dを見に行こう！」		一般	交通手段の無い方へのマイクロを運行	9/28 10人(利用者)
	大学施設見学	2回	市内中学生	京大と岡山理大の宇宙物理学教室及び天文台の見学研修	7/23、12/22 中学生23名
	第55回科学学術週間		小中高校生	入館料無料	4/15～4/20
	天文博物館友の会活動	随時	一般		例会：毎月第2土曜日 施設見学会、観望会等積極的な活動を続けています。
かもがた町家公園事業	町家塾	年間	市内小学1～6年生	郷土の文化伝承	5/25 端午の節句(柏餅づくり、映画会) 96人 6/28 真田組み・昔話 46人 8/30 七夕会(短冊書き、素麺流し、映画会) 119人 9/27 ムクロジとハスの葉の不思議・昔話 38人 10/25 古代体験(火起こし・勾玉作り) 42人 11/15 鴨山巡り 28人 12/13 凧作り・昔話 58人 1/24 七草がゆを食べよう 90人 2/21 折り紙・万華鏡作り・昔話33人 3/21 雛祭り(よもぎ団子作り等) 51人
	町家公園茶会	年3回	一般	かもがた町家管理組合文化部茶道班による茶会	6/21 262人 9/7観月茶会 342人 2/1 196人
	GWは町家において	年1回	一般	昔の道具展 かもがた町家公園所蔵民俗資料の展示	5/3～5 212人

				昔体験 子ども達を対象とした 昔体験	5/3 藁草履作り、縄わない体験、ねこ車体験、お駕籠乗り体験 70人 5/4 黄粉作り、火起こし体験と竹筒炊飯 120人 5/5 煎餅焼き体験、火起こし体験150人 5/3～5/5 琴の演奏体験 45人
	町家でむかしむかし	年1回	市民一般	地域に伝わる昔話を聞き、歴史や伝統文化について享受する。	11/16 23人
	町家で投扇興体験会	年1回	市民一般	江戸時代の遊びである投扇興の体験講座	11/23 55人
	季節の企画展	年間	一般	節句等の伝統的年中行事の企画展示	4～5月 五月人形展示 8/1 七夕飾り 12月 クリスマスツリー展示 年末年始 門松・正月飾り 2～3月 雛人形展示
	菊の展示会	年1回	一般	旧暦の重陽の節句に合わせた菊の展示	10/29～11/9
	とんど焼き体験	年1回	市民一般	伝統行事であるとんど焼き体験	1/12 157人
	まちや寄席	年1回	市民一般	岡山大学落語研究会による寄席	2/8 71人
	町家スプリングコンサート	年1回	一般	町家で聴くクラシックコンサート	3/15 100人
阿藤伯海公記念園事業	所蔵作品展	年間	一般	阿藤伯海先生等資料展示	阿藤伯海先生や郷土先人に関する資料の常設展示
	伯海公園茶会	年1回	一般	季節を感じる茶会	7/13 蓮見茶会 148人
	論語かるた大会	年2回	小学生	小学生を対象にしたかるた大会	7/25 14人 1/18 13人
	大賀蓮植え付け講習会	年1回	一般	園内の池で間引きされたレンコンを鉢に植える講習	3/29 9人
資料館事業	金光歴史民俗資料館	年1回	一般	郷土資料の企画展示	10/25～12/14 約500人 「天才建築技師江川三郎八 ～近代化建築遺産をめぐって～」 11/30 講演会 41人 大谷まちあるき 28人
	鴨方郷土資料館	年間	一般	郷土資料の常設展示	郷土先人の絵画資料、考古資料、麦稈真田や製麺製造関連の民俗資料の展示